

施策評価シート

施策コード	4201	平成27年度 第9次鳥取市総合計画		
施策名	生活基盤の充実	所属名	都市整備部	都市企画課

1. 基本情報

位置づけ 総合計画	体系区分	コード	名称
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる

2. 施策の概要【PLAN】

現状と課題	<p>○持続的に行政サービスや生活サービスを楽しむ多極型のコンパクトな都市構造に移行していくため、中心市街地の再生と併せて日常生活を支える地域生活拠点を再生することが必要です。</p> <p>○自然とのふれあいやゆとりを求める市民ニーズが高まる中、身近な生活環境における緑や憩いの空間を求める声が高まっています。</p> <p>○高速道路網は、地域活動や経済活動の重要な基盤であり、市民生活を豊かで快適にします。鳥取自動車道の開通に引き続き、山陰自動車道（鳥取西道路）などの早期整備を促進することが必要です。</p> <p>○いつでも安全で安心して飲める水道水を安定して供給するためには、上水道と簡易水道の施設の適正な維持管理、さらには老朽化した施設の更新や耐震化を計画的に進めることが必要です。</p> <p>○下水道は、公衆衛生の向上はもとより、河川、海などの水質を保全しています。未普及地域の早期解消、浸水・地震等の災害対策などを計画的に進め、適正な維持管理に努める必要があります。</p>
めざす方向	それぞれの地域条件を踏まえた道路、上下水道、住宅や公園緑地を適切に配置した生活基盤を整備し、だれもが安全で快適な住みよいまちをつくりまします。
達成するための対策・手段	<p>①多極型のコンパクトな都市づくりの推進</p> <p>②快適で緑豊かなまちづくりの推進</p> <p>③高速道路網の整備</p> <p>④幹線道路網と生活道路環境の整備</p> <p>⑤上水道の整備による安全安心な水の供給</p> <p>⑥下水道整備による快適な生活環境の推進</p> <p>⑦質の高い住環境の整備</p>

3. 施策の成果を把握していくための指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果指標	1	市民との協働による身近な公園の芝生化数	カ所	目標	36	36	36	36	36
				実績	9	9	8	6	50
				目標達成率	25%	25%	22%	17%	139%
		(指標の説明) 街区公園等145カ所と公共空地198カ所の計343カ所のうち、各年度において新たに芝生化を進める公園数。(基準値は平成21年度)							
	2	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)	%	目標	0	0	0	45	0
				実績	0	0	0	45.6	0
				目標達成率				101%	
		(指標の説明) 市民アンケート調査で中程度の評価より高い回答をした市民の割合。(基準値は平成21年度) ※5年に1度実施。次回は平成31年度実施予定。							
	3	下水道接続率(全市)	%	目標	94.54	95	95	95	95
				実績	94.87	95.36	97.3	96.8	96.4
目標達成率				100%	100%	102%	102%	101%	
(指標の説明) 供用開始区域のうち宅内工事を完了し、実際に下水道を使用している人の割合。(基準値は平成21年度)									

4. 施策を進めるに当たって要する(した)経費【PLAN・DO】

(単位:千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
決算額	18,545,059	6,847,457	5,110,175	10,222,239	10,174,869

5. 施策の成果【CHECK】

施策の成果 (成果が上がっているか、政策の目標実現に貢献しているか)	近年、鳥取自動車道、山陰道(鳥取西道路)、山陰近畿自動車道など、鳥取市及び因幡圏域において高速道路ネットワーク整備が順調に進められている。また、都市再生整備計画を用瀬地区、青谷地区で策定するなど多極ネットワーク型コンパクトシティ形成に向けた地域生活拠点の再生が着実に進展しており、関連施策が市民生活の向上に寄与出来ている。
---------------------------------------	---

6. 今後の施策の方向性【ACTION】

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡大 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 維持継続 <input type="checkbox"/> 4. 縮小廃止
担当部長評価コメント (部としての施策の方向性) ※市民等との協働の推進、行財政改革の推進の視点を踏まえて記載	今後も、高速道路網の整備や駅前周辺の再生、接続可能な交通体系の整備、都市再生整備計画の策定などを計画的かつ着実に実施し、市民生活の向上に向け、継続的に生活基盤整備を推進していくことが必要である。

事務事業評価シート

事務事業コード	001613	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	都市計画策定事業		所属名	都市整備部 都市企画課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	全期
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	都市計画法
施策	4201	生活基盤の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	市民との協働による身近な公園の芝生化数		9カ所	36カ所	運営方法	直営
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)		0%	0%	会計区分	一般会計
	下水道接続率(全市)		94%	95%		
予算	予算事業名	都市計画策定費			予算事業コード	01-07-05-01-03-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	都市計画区域
意図 (どのような状態にするために)	都市計画上の課題に対応し、その健全な発展に資する都市構造に誘導する。
手段 (どうするのか)	土地の有効利用や都市の健全な発展を促進していくにあたり、基礎調査及び各種統計資料を用いて、市街化の実態・動向、都市基盤の整備状況、土地利用の動向などを調査・整理し、区域区分や用途地域の見直しなど都市計画上の課題について検討を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 区域区分見直し検討 用途地域の見直し検討 マスタープラン印刷	平成24年度 都市計画道路見直し (2路線)	平成25年度 都市計画道路見直し 都市計画基礎調査	平成26年度 都市計画道路見直し マスタープラン作成 区域区分見直し検討	平成27年度 都市計画道路見直し マスタープラン作成 区域区分見直し検討 用途地域の見直し検討	
	年度別実績	マスタープラン印刷 管内図作成	区域区分見直し検討 用途地域の見直し検討	都市計画基礎調査 都市計画道路見直し 区域区分見直し検討	都市計画道路見直し マスタープラン作成 区域区分見直し検討	マスタープラン素案策定 区域区分見直し検討 用途地域の見直し検討	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	8,469	11,036	7,343	13,703	11,629	
	直接経費 A	972	3,610	58	6,181	4,272	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	2,041	1,692
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	39	41	9	0	0
		一般財源	933	3,569	49	4,140	2,580
人件費 B	7,497	7,426	7,285	7,522	7,357		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	都市計画の見直し方針策定業務	単位	業務	区分	目標	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		実績				1	1	1	1	1	0.5		
	(指標の説明) 都市計画の見直し方針検討業務												
	2	目標		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		実績		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)												
3	目標		0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	実績		0	0	0	0	0	0	0	0	0		
(指標の説明)													

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】都市計画係 0857-20-3272</p> <p>【9次総の施策体系】4201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P255（都003）</p> <p>【事業の概要】 都市の将来ビジョンと、その実現に向けた具体的施策の基本方針を明確にすることを目的として、都市計画法に基づき、平成18年5月に現在の「鳥取市都市計画マスタープラン」は策定されている。「鳥取市総合計画」などの上位計画に即して、まちづくり計画の全体像（全体構想）と、地域ごとの将来像（地域別構想）から構成され、20年後の都市の将来ビジョンを示している。 都市計画マスタープランは、上位計画の改定や社会情勢の変化などにより、必要に応じて見直しを行うこととされている。上位計画となる「第10次鳥取市総合計画」、鳥取県の策定する「区域マスタープラン」が改定されることから、上位計画との整合を図る必要があること、また、都市の現状や社会経済状況の変化、策定後に発生した諸課題への対応が必要となっていることから、都市計画マスタープランの見直しを実施する。</p> <p>【事業の成果】 鳥取市都市計画マスタープランの素案を策定した。</p> <p>【今後の課題・方向性】 都市計画マスタープランで示す多極ネットワーク型コンパクトシティの実現に向けて、全庁的にその理念の共通理解を図るとともに、総合計画、創生総合戦略と都市計画マスタープラン関連施策の体系化を図り、各部署が連携して計画を推進する体制を構築する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	都市計画の見直し方針策定業務		100%	100%	100%	50%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	市が関与すべき範囲である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	成果の向上に必要な業務である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	都市計画の専門的な知識が必要であり、業務発注が必要である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	対象は適切である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	人口減少や少子高齢化の急激な進展に伴う都市の低密度化・空洞化や中山間地域の過疎化、公共交通サービスの低下及び地域コミュニティの喪失などの諸課題に対応するため、今後も都市計画的な手法や都市計画マスタープラン関連施策の検討を積極的に行い、多極ネットワーク型コンパクトシティの実現を図る。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001614	重点事業区分	リープロ6	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	地域生活拠点再生事業(気高、青谷)		所属名	都市整備部 都市企画課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成23年度 ~ 平成28年度
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	都市再生特別措置法
施策	4201	生活基盤の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	市民との協働による身近な公園の芝生化数		9カ所	36カ所	運営方法	直営
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)		0%	0%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	都市再生整備策定費			予算事業コード	01-07-05-01-03-09
下水道接続率(全市)		94%	95%			

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	気高地区、青谷地区
意図 (どのような状態にするために)	賑わいと活力のある地域生活拠点の再生を図り、日常生活に必要なサービスを身近に受けられる安心して暮らしやすいまちづくりを目指す。
手段 (どうするのか)	地域の課題や住民の意向を踏まえた都市再生整備計画を策定し、「社会資本整備総合交付金」などを活用して魅力ある居住環境を形成する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 地域生活拠点再生整備検討委員会の開催 都市再生整備計画策定	平成24年度	平成25年度 地域生活拠点再生整備検討委員会の開催 都市再生整備計画策定	平成26年度 地域生活拠点再生整備検討委員会の開催	平成27年度 都市再生整備計画策定	
	年度別実績		地域生活拠点再生整備検討委員会の開催	地域生活拠点再生整備検討委員会の開催 都市再生整備計画策定	地域生活拠点再生整備検討委員会の開催	都市再生整備計画策定	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	14,903	17,450	18,103	14,714	
	直接経費 A	0	51	2,880	3,059	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	51	1,400	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	1,480	3,059	0	
人件費 B	0	14,852	14,570	15,044	14,714		
職員数の内訳	正規職員	0.00	2.00	2.00	2.00	2.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		都市再生整備計画策定地区数	地区	目標	2	0	1	1	1	
			実績	0	0	1	0	1		
	(指標の説明) 地域生活拠点の内計画を策定する地区数									
	2		目標	0	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標	0	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】都市計画係 0857-20-3272</p> <p>【9次総の施策体系】4201</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 鳥取市都市計画マスタープランの理念である多極型のコンパクトな都市構造に移行していくためには、郊外化の抑制、中心市街地の活性化と併せて、地域生活拠点を再生することが重要であり、地域の特性に応じたインフラ整備等を行う。</p> <p>【事業の成果】 平成26年度に、学識経験者と地域住民とからなる気高地区地域生活拠点再生整備検討委員会を5回実施し、まち歩き、ワークショップを通して、地域の特性・課題を抽出し、地域生活拠点の再生を図るためのプロジェクトの検討により、気高地区地域生活拠点再生整備計画(委員会提案)の策定を行った。この計画を基に、社会資本整備総合交付金の実施計画となる都市再生整備計画(気高地区)を策定し国に提出した。</p> <p>【今後の課題・方向性】 現在実施中の都市再生整備計画事業(青谷地区)に続き、平成27年度に策定した都市再生整備計画(気高地区)に基づき、平成28年度から5カ年計画で気高地区の都市再生整備計画事業に着手する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	都市再生整備計画策定地区数			100%		100%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	地域生活拠点を再生するために積極的に関与すべきである。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	地域の課題や住民の意向を踏まえた整備計画である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	学識経験者、地域住民を主体とした策定委員会を組織することによる。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	総合支所周辺の8地区を地域生活拠点として位置付けている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>多極ネットワーク型コンパクトシティの実現のためにも地域生活拠点の再生は重要事項であり、各地域で計画的に事業展開を図る。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	001683	重点事業区分	リープロ4	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	公園芝生化推進事業		所属名	都市整備部 都市環境課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成20年度 ~ 全期
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	
施策	4201	生活基盤の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	市民との協働による身近な公園の芝生化数		9カ所	36カ所	運営方法	外部委託
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)		0%	0%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	公園芝生化推進事業費		予算事業コード	01-07-05-04-12-01	
下水道接続率(全市)		94%	95%			

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	都市公園、公共空地、地域の広場
意図 (どのような状態にするために)	都市公園等の芝生化
手段 (どうするのか)	地域住民等と協働して、芝苗(ポット苗)の植付から、水やり、芝刈りなどの維持管理までを行なう。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	芝生化面積12,000㎡を想定	芝生化面積12,000㎡を想定	芝生化面積10,000㎡を目標	芝生化面積10,000㎡を目標	芝生化面積10,000㎡を目標	
	年度別実績	芝生化面積9箇所 9,730㎡	芝生化面積9箇所 5,800㎡	芝生化面積8箇所 6,180㎡	芝生化面積5箇所 11,690㎡	芝生化面積11箇所 14,760㎡	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	21,058	17,568	17,346	14,981	15,835	
	直接経費 A	6,064	10,142	10,061	7,459	8,478	
	直接経費の財源内訳	国・県	3,032	3,913	3,758	2,338	2,923
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	3,032	6,229	6,303	5,121	5,555	
人件費 B	14,994	7,426	7,285	7,522	7,357		
職員数の内訳	正規職員	2.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	市民との協働による身近な公園の芝生化数	カ所	目標	36	36	20	20	20
				実績	9	9	8	5	10
	(指標の説明) 街区公園等145カ所と公共空地198カ所の343カ所のうち、各年度において新たに芝生化を進める公園数								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】公園係 0857-20-3273</p> <p>【9次総の施策体系】4102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P202（都031）</p> <p>【事業の概要】 近年、校庭芝生化、公園芝生化が全国的に話題となっており、実施例も全国各地で増えている。鳥取市でも公園芝生化の要望、幼稚園や学校の園庭、校庭の芝生化の実施など市民のニーズが高まっている。都市公園においては、社会資本整備総合交付金（効果促進事業）を活用して事業を実施する。</p> <p>【事業の成果】 公園、公共空地の芝生化業務、芝生維持管理業務 ・平成25年度 10,060千円 芝生化実施箇所数 8箇所 6,180㎡ ・平成26年度 7,459千円 芝生化実施箇所数 5箇所 11,690㎡ ・平成27年度 8,478千円 芝生化実施箇所数11箇所 14,760㎡</p> <p>【今後の課題・方向性】 市民との協働を図りながら芝生化を実施していく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	市民との協働による身近な公園の芝生化数	25%	25%	40%	25%	50%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	全市的に広場の芝生化を推進しており妥当である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	多くの公園、公共空地の芝生化に取り組んでいる。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	地域住民等との協働により、芝苗の植付から、水やり、芝刈りなどの維持管理を行い、住民参加による低コストの実施が可能である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	市民の憩いの場の整備を行うため公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	鳥取市の特色ある施策として、公園等の協働による芝生化を一層進めていく必要がある。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001558	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画	
事務事業名	高速道路整備促進及び沿線振興事業(山陰自動車道要望活動)		所属名	都市整備部	都市企画課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	全期
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	
施策	4201	生活基盤の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	市民との協働による身近な公園の芝生化数		9カ所	36カ所	運営方法	直営
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)		0%	0%	会計区分	
予算	予算事業名	国道9号整備・山陰自動車道建設促進鳥取県成会負担金			予算事業コード	01-07-01-01-02-03
		下水道接続率(全市)		94%	95%	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	国道9号・山陰自動車道
意図 (どのような状態にするために)	国道9号の整備促進・山陰自動車道の早期全線開通
手段 (どうするのか)	国土交通省等関係機関へ要望等を行なう。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	・担当課長会の開催 ・総会の開催 ・要望活動	・担当課長会の開催 ・総会の開催 ・要望活動	・担当課長会の開催 ・総会の開催 ・要望活動	・担当課長会の開催 ・総会の開催 ・要望活動	・担当課長会の開催 ・総会の開催 ・要望活動	
	年度別実績	・担当課長会の開催 ・総会の開催 ・要望活動 (倉吉河川国道事務所、鳥取河川国道事務所、中国地方整備局、国土交通省、財務省、議員会館)	・担当課長会の開催 ・総会の開催 ・要望活動 (倉吉河川国道事務所、鳥取河川国道事務所、中国地方整備局、国土交通省、財務省、議員会館)	・担当課長会の開催 ・総会の開催 ・要望活動 (倉吉河川国道事務所、鳥取河川国道事務所、中国地方整備局、国土交通省、財務省、議員会館)	・担当課長会の開催 ・総会の開催 ・要望活動	・担当課長会の開催 ・総会の開催 ・要望活動	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	1,626	1,749	1,514	1,648	57	
	直接経費 A	127	264	57	144	57	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	127	264	57	144	57	
人件費 B	1,499	1,485	1,457	1,504	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	山陰自動車道の進捗率(供用ベース)	%	目標	53	53	65	65	65
		実績		53	53	64.8	64.8	64.8	
	(指標の説明) 山陰自動車道の進捗率(供用ベース)								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 事業調整係 0857-20-3253</p> <p>【9次総の施策体系】 4201</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 山陰自動車道の整備促進、県内の一般国道9号の整備促進、維持修繕及び安全施設整備について関係機関へ要望等を行う。</p> <p>【事業の成果】 鳥取西道路：埋蔵文化財調査、用地買収、改良工事、橋梁工事、トンネル工事等の推進が推進された。</p> <p>【今後の課題・方向性】 「鳥取西道路」、「北条道路」の事業継続と促進を図り、早期に整備されるよう引き続き要望活動に取り組む。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	山陰自動車道の進捗率(供用ベース)	100%	100%	100%	100%	100%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	鳥取県内の一般国道9号の整備促進並びに山陰自動車道の早期建設を図るためには、市として継続的に国土交通省等関係機関への要望活動を行う必要がある。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	継続的に要望活動を行うことにより、道路整備の財源が確保され事業進捗が図られている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	鳥取県内の一般国道9号・山陰道関係10市町村で組織する期成会により要望活動を行っており、道路整備財源の確保など効果が得られている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	鳥取県内の一般国道9号・山陰道関係10市町村の規模により期成会の負担金を求めている、受益者負担は適正である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント 国道9号の早期整備・山陰自動車道の早期全線開通のため、関係機関と連携し継続した事業展開を図る。		

事務事業評価シート

事務事業コード	001561	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画	
事務事業名	高速道路整備促進及び沿線振興事業(鳥取豊岡宮津自動車道要望活動)		所属名	都市整備部	都市企画課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	全期
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	
施策	4201	生活基盤の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	その他
	市民との協働による身近な公園の芝生化数		9カ所	36カ所	運営方法	直営
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)		0%	0%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	鳥取豊岡宮津自動車道整備推進協議会負担金			予算事業コード	01-07-01-01-02-06
予算		下水道接続率(全市)		94%	95%	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取豊岡宮津自動車道
意図 (どのような状態にするために)	早期全線開通
手段 (どうするのか)	国土交通省等関係機関へ要望等を行なう。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 ・総会の開催 ・要望活動	平成24年度 ・総会の開催 ・要望活動	平成25年度 ・総会の開催 ・要望活動	平成26年度 ・総会の開催 ・要望活動	平成27年度 ・総会の開催 ・要望活動	
	年度別実績	・総会の開催 ・要望活動 (要望先:鳥取河川国道事務所、中国地方整備局、国土交通省、財務省、議員会館)	・総会の開催 ・要望活動 (要望先:鳥取河川国道事務所、中国地方整備局、国土交通省、財務省、議員会館)	・総会の開催 ・要望活動 (要望先:鳥取河川国道事務所、中国地方整備局、国土交通省、財務省、議員会館)	・総会の開催 ・要望活動	・総会の開催 ・要望活動	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	1,759	1,675	1,647	1,694	1,661	
	直接経費 A	260	190	190	190	190	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	10	0	0	0	0
一般財源	250	190	190	190	190		
人件費 B	1,499	1,485	1,457	1,504	1,471		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		鳥取豊岡宮津自動車道の進捗率(供用ベース)	%	目標	18	18	27	27	27
	(指標の説明)		実績	18	18	23.3	23.3	23.3	
2				目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)			実績	0	0	0	0	0
3				目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)			実績	0	0	0	0	0

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 事業調整係 0857-20-3253</p> <p>【9次総の施策体系】 4201</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 鳥取・豊岡間地域高規格道路の建設推進について関係機関へ要望等を行う。</p> <p>【事業の成果】 鳥取～福部間について、平成27年度より計画段階評価を進めるための調査に着手。 岩美道路について、浦富IC～岩美IC間が供用開始された。</p> <p>【今後の課題・方向性】 「鳥取豊岡宮津自動車道(山陰近畿自動車道)」全線が早期に整備されるよう、引き続き要望活動等に取り組む。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標 達成 率	1	鳥取豊岡宮津自動車道の進捗率(供用ベース)	100%	100%	86%	86%	86%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	鳥取豊岡宮津自動車道(山陰近畿自動車道)の全線開通を図るためには、市として継続的に国土交通省等関係機関への要望活動を行う必要がある。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	継続的に要望活動を行うことにより、道路整備の財源が確保され事業進捗が図られている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	鳥取県2市町、兵庫県1町の3市町で組織する協議会により要望活動を行っており、道路整備財源の確保など効果が得られている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	鳥取豊岡宮津自動車道(山陰近畿自動車道)関係3市町の規模により協議会の負担金を求めており、受益者負担は適正である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	鳥取豊岡宮津自動車道(山陰近畿自動車道)の早期全線開通のため、関係機関と連携し事業推進を図る。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001609	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	橋梁長寿命化推進事業		所属名	都市整備部 道路課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	全期
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	道路法
施策	4201	生活基盤の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	市民との協働による身近な公園の芝生化数		9カ所	36カ所	運営方法	直営
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)		0%	0%	会計区分	一般会計
	下水道接続率(全市)		94%	95%		
予算	予算事業名	橋梁維持補修費		予算事業コード	01-07-02-05-01-01	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市道に架かる橋梁
意図 (どのような状態にするために)	老朽化した橋梁の修繕を実施することにより、施設の延命化を図るため
手段 (どうするのか)	橋梁の長寿命化修繕計画に基づき修繕に取り組む

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 ・橋梁修繕 ・調査設計	平成24年度 ・橋梁修繕 ・調査設計 ・橋梁点検	平成25年度 ・橋梁修繕 ・調査設計	平成26年度 ・橋梁修繕 ・調査設計	平成27年度 ・橋梁修繕 ・調査設計	
	年度別実績	・橋梁修繕 21橋 ・調査設計 54橋	・橋梁修繕 1橋 ・調査設計 1橋 ・橋梁点検 662橋	・橋梁修繕 2橋	・橋梁修繕 2橋ほか	・橋梁修繕等 2橋ほか ・橋梁補修調査設計 17橋	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	535,668	83,674	104,663	87,623	156,834	
	直接経費 A	519,175	68,822	90,093	72,579	142,120	
	直接経費の財源内訳	国・県	298,258	44,131	67,657	40,274	66,175
		地方債	210,000	23,300	19,400	30,300	71,900
		その他	0	0	0	0	0
人件費 B	16,493	14,852	14,570	15,044	14,714		
職員数の内訳	正規職員	2.20	2.00	2.00	2.00	2.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		修繕済橋梁数	橋	目標	3	10	1	4	10	
			実績	21	1	2	2	2		
	(指標の説明) 修繕済橋梁数									
	2	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		調査・設計済橋梁数	橋	目標	50	60	1	20	20	
		実績	54	1	0	0	17			
(指標の説明) 調査・設計済橋梁数										
3	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
			目標	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 維持第1係、維持第2係 0857-20-3262、20-3263</p> <p>【9次総の施策体系】 4201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P253（都041）</p> <p>【事業の概要】 橋梁の損傷状況や老朽度合いに応じ策定された「鳥取市道路施設修繕計画」をもとに、国の交付金等を活用し修繕を行い、施設の延命化と費用の平準化を図る。適切な状態で維持・管理することにより、通過交通及び通行者の安全を確保する。</p> <p>【事業の成果】 社会資本整備総合交付金（交付金事業）を活用し、橋梁の補修、橋梁に係る舗装打替、橋梁補修調査設計を実施する。 ・橋梁修繕等 2橋ほか ・橋梁補修調査設計 17橋 （翌年度繰越額 69,265千円 下砂見1号線 倉内橋ほか1路線）</p> <p>【今後の課題・方向性】 架橋から年数が経過している橋梁の中には、橋梁の架け替えに多額の経費が必要となるため、危険度調査の結果を基に計画的に補修工事を行うことで施設の延命化を図り、費用の平準化を図るとともに大規模な改修が必要なものについては交付金制度を活用して当市の負担を抑えていくことが必要である。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	修繕済橋梁数	700%	10%	200%	50%	20%
	2	調査・設計済橋梁数	108%	108%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	適切な状態で維持・管理することにより、通過交通及び通行者の安全を確保する必要があるため。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	適切な状態で維持・管理することにより、通過交通及び通行者の安全を確保する必要があるため。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	施設の延命化を図り、費用の平準化を図るとともに大規模な改修が必要なものについては交付金制度を活用して当市の負担を抑えていくことが必要であるため。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	道路整備は、公道という性質上すでに公平であるため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	平成18・25年度に調査を行い、設置から年数が経ち、老朽化、主要構造部の傷みが発生している等、早急に対応や詳細調査の必要があることが確認されている。所管する橋梁数が多いため、一時に対応することは困難であることから、延命化措置が可能なものは延命化を図るといった対応をとっていく。可能な限り事業費の平準化を図るべく橋梁長寿命化修繕計画に従い実施していく。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001867	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	鉛製給水管更新事業		所属名	水道局

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成16年度 ~ 平成28年度
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	水道法
施策	4201	生活基盤の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	市民との協働による身近な公園の芝生化数		9カ所	36カ所	運営方法	外部委託
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)		0%	0%	会計区分	
予算	予算事業名				予算事業コード	
下水道接続率(全市)		94%	95%			

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鉛製給水管
意図 (どのような状態にするために)	水道水の鉛水質基準が強化されたことにより、鉛製給水管が使用されている家庭において鉛水質基準が基準値を上回らないようにするため
手段 (どうするのか)	上下水道事業を活用し、平成30年度を目途に計画的に付設替えを行う。(国庫補助等の対象となればこれを活用する。)

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 鉛給水管改良戸数 約850戸	平成24年度 鉛給水管改良戸数 約850戸	平成25年度 鉛給水管改良戸数 約1,000戸	平成26年度 鉛給水管改良戸数 約1,000戸	平成27年度 鉛給水管改良戸数 約1,000戸	
	年度別実績	鉛給水管改良戸数 1,125戸	鉛給水管改良戸数 約992戸	鉛給水管改良戸数 約1,123戸	鉛給水管改良戸数 約983戸	鉛給水管改良戸数 838戸	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	125,781	128,739	142,418	145,147	135,240	
	直接経費 A	125,781	128,739	142,418	145,147	135,240	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	120,000	124,000	136,000	136,000	110,500
		その他	5,781	4,739	6,418	9,147	24,740
人件費 B	0	0	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	残存戸数(削減目標)	戸	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		目標	7740	6890	5480	4480	3480		
	実績	7472	6480	5357	4374	3536			
(指標の説明) 鉛製給水管残存戸数(他事業を含めた残存戸数) ※達成率計算式要チェック									
2		目標	0	0	0	0	0	0	
	実績	0	0	0	0	0	0		
(指標の説明)									
3		目標	0	0	0	0	0	0	
	実績	0	0	0	0	0	0		
(指標の説明)									

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 水道局工務課管理係 0857-53-7942</p> <p>【9次総の施策体系】 4201</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 鉛製給水管更新事業は、鉛成分に関する水質基準が強化されたことから、平成28年度までの完了を目標にポリエチレン管に更新する事業である。</p> <p>【事業の成果】 平成27年度末で29,327戸(89.2%/32,863戸)の布設替えを完了し、残戸数が3,536戸となっている。</p> <p>【今後の課題・方向性】 鉛製給水管の更新は、主に鉛製給水管更新事業による給水管単独の布設替えと、震災対策整備事業による老朽管の更新と同時に行う布設替えによって行っている。両事業とも解消目標年度の設定をしているが、国庫補助金等の補助が受けられないことや給水収益の減少によって自己財源の確保が難しいことから事業費を縮小せざるを得ない状況である。さらに設計単価の上昇等もあり、更新目標年度の達成が難しい状況となっている。 当面の財源を考慮すると年間の更新戸数は1,000~1,100戸程度であり、平成27年度末に残存する3,536戸の更新目標年度を平成30年度まで延長する。</p> <p>【年度別の更新戸数と事業費との関係について】 鉛製給水管の更新戸数は、鉛製給水管更新事業、震災対策整備事業、給水管の改造や修理などに伴って更新される総数である。鉛製給水管更新事業における更新戸数は、平成23年度から平成26年度は約800~900戸程度であり、他の事業等における更新戸数は100~300戸となっている。また、給水管1戸当たりに係る更新費用は、分岐する配水管の口径、道路幅員等による布設替え延長、道路の種別や舗装の状況などの違いにより大きく異なり、また、設計単価の上昇等があり年度別の更新戸数と事業費は必ずしも比例しない。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	残存戸数(削減目標)	97%	94%	98%	98%	102%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	市民サービスの向上のためにも積極的に取り組む必要がある。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	水質基準に抵触することなく、きれいで安心できる飲料水が供給できる。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	現在、起債により布設替をしているが、国、県等の補助が受けられるよう補助要件の緩和を要望している。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	市民に対して安全で安心できるきれいなおいしい飲料水を供給することが可能となる。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント	<p>鉛製給水管の更新は、主に鉛製給水管更新事業による給水管単独の布設替えと、震災対策整備事業による老朽管の更新と同時に行う布設替えによって行っている。両事業とも解消目標年度の設定をしているが、国庫補助金などの補助が受けられないことや給水収益の減少によって自己財源の確保が難しいことから事業費を縮小せざるを得ない。さらに設計単価の上昇等もあり、更新目標年度の達成が難しい状況となっている。 水道事業の経営環境が厳しいなか、平成27年4月に改訂した長期経営構想において事業の見直しを行い、鉛製給水管の更新については完了年度を平成30年度まで延長することとした。</p>		

事務事業評価シート

平成27年度 第9次鳥取市総合計画

事務事業コード	001868	重点事業区分	—	所属名	水道局
事務事業名	配水施設整備事業				

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成4年度～平成35年度
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	水道法
施策	4201	生活基盤の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	市民との協働による身近な公園の芝生化数		9カ所	36カ所		
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)		0%	0%	運営方法	外部委託
	下水道接続率(全市)		94%	95%	会計区分	
予算	予算事業名				予算事業コード	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	配水池及び送配水管等
意図 (どのような状態にするために)	平常時における安定給水の確保及び地震等の災害時における給水対策充実のため
手段 (どうするのか)	主に送配水管路の整備と1日最大給水量の12時間以上貯留できる配水池整備等を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 配水池等整備 送配水管整備	平成24年度 配水池等整備 送配水管整備	平成25年度 配水池等整備 送配水管整備	平成26年度 配水池等整備 送配水管整備	平成27年度 配水池等整備 送配水管整備	
	年度別実績	配水池等整備 送配水管整備	配水池等整備 送配水管整備	配水池等整備 送配水管整備	送配水管整備 片山ポンプ場場内整備	送配水管整備 片山ポンプ場場内整備	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	246,170	466,121	531,820	698,825	439,227	
	直接経費 A	246,170	466,121	531,820	698,825	439,227	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	246,100	318,200	228,600	593,600	227,600
		その他	70	3,989	720	2,633	19,050
		一般財源	0	143,932	302,500	102,592	192,577
人件費 B	0	0	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	事業進捗率	%	目標	50	52	60	65	68	
				実績	50	53	57	61	62	
	(指標の説明) 事業費総額に対する進捗率									
	2			目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)									
	3			目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)									

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】 水道局工務課管理係 0857-53-7942
	【9次総の施策体系】 4201
	【予算計上の経過】 なし
	【事業の概要】 平常時における安定給水の確保及び地震等の災害時における給水対策を充実するため、主に送・配水管路の整備と1日最大給水量の12時間以上貯留できる配水池の整備等を進める。
	【事業の成果】 平成35年度までの事業費に対する進捗率は約62%。なお、年度単位の事業進捗率については、河原インター山手工業団地配水地電気室築造工事を平成28年度に持ち越しとなったことなどの影響で目標の91%となった。
【今後の課題・方向性】 水道事業経営変更認可(平成27年3月31日付け)に基づいて、事業完了目標を平成47年度末に変更する。事業実施にあたっては、短期的・中期的・長期的に整備する優先順位を策定する予定である。	

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	事業進捗率	100%	102%	95%	94%	91%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	水道には、平常時はもとより地震等災害発生時においても一定の給水を確保することが基本的使命として求められるため。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	少しずつではあるが、水道施設に生じた損傷や機能障害に対して、速やかに復旧や対応が可能となる整備が進んでいる。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	本事業には莫大な費用が生じるため、年間の整備進捗率の向上が穏やかである。国等に対して補助採択基準の見直しにより進捗率の向上を促進したい。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	本事業は、鳥取市給水区域内の住民全てに対して安定した給水を確保するためのものである。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	送・配水施設の耐震化や配水池の増設、配水ブロック化計画、応急給水拠点整備などの進捗率を向上させるにあたり、今後の事業計画の見直しを図るとともに、財源確保に努める。事業完了目標を平成47年度末に変更するとともに、短期・中期・長期的に整備する優先順位を策定する予定である。なお、平成26年度は、河原インター山手工業団地配水地進入路整備工事の発注時期が平成27年度に持ち越しとなったことなどの影響で目標の94%となった。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001869	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	震災対策整備事業		所属名	水道局

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成23年度 ~ 平成35年度
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	水道法
施策	4201	生活基盤の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	市民との協働による身近な公園の芝生化数		9カ所	36カ所	運営方法	直営
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)		0%	0%	会計区分	
予算	予算事業名				予算事業コード	
下水道接続率(全市)		94%	95%			

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	老朽化した鋳鉄管(CIP)、口径75mm以上の塩化ビニール管(TSVP)及び老朽化した鋼管(SP)
意図 (どのような状態にするために)	地震等の災害に強い耐震性に優れた水道管にするため
手段 (どうするのか)	平成35年度を目途に計画的に布設替えを行う。(国庫補助等の対象となればこれを活用する。)

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 老朽管改良延長 約3.5km	平成24年度 老朽管改良延長 約3.5km	平成25年度 老朽管改良延長 約3.5km	平成26年度 老朽管改良延長 約3.5km	平成27年度 老朽管改良延長 約3.5km	
	年度別実績	老朽管改良実績延長 約2.5km	老朽管改良実績延長 約3.5km	老朽管改良実績延長 約3.4km	老朽管改良実績延長 約2.8km	老朽管改良延長 約1.6km	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	147,971	194,804	220,700	192,680	148,624	
	直接経費 A	147,971	194,804	220,700	192,680	148,624	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	94,300
		その他	147,971	194,804	220,700	192,680	54,133
一般財源	0	0	0	0	191		
人件費 B	0	0	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	残存延長	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		km	目標	41.4	37.9	34.4	30.9	27.4	
	実績	47.9	44.4	41	38.2	36.6			
(指標の説明) 老朽管残存延長									
2		目標	0	0	0	0	0	0	
	実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)									
3		目標	0	0	0	0	0	0	
	実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)									

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 水道局工務課管理係 0857-53-7942</p> <p>【9次総の施策体系】 4201</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 耐震性に劣り赤水の原因となる铸铁管及び経年劣化により漏水を頻発する接着継手の塩化ビニル管等を老朽管と位置付け、震災対策整備事業として平成32年度を完了目標として優先的に布設替を行う。</p> <p>【事業の成果】 平成27年度末で156.79km (81.1%/193.34km) の布設替を行っている。</p> <p>【今後の課題・方向性】 これまでは平成32年度完了目標に年間約5kmの布設替を行ってきており、平成27年度末で156.79km (81.1%/193.34km) の布設替を完了している。しかし、国庫補助金等の補助が受けられないことや給水収益の減少によって自己財源の確保が難しいことから事業費を縮小せざるを得ない状況であり更新目標年度の達成が難しくなっている。 当面の財源を考慮すると年間の更新延長は4~5km程度であり、平成27年度末の残存延長36.6kmの更新目標年度を平成35年度まで延長する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	残存延長	116%	117%	119%	124%	134%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	市民サービスの向上のためにも積極的に取り組む必要がある。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	老朽管を布設替することにより、鉛製給水管を同時に布設替することになるため積極的に進めている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	目標年度があり、一般財源(自己財源)では布設替延長に制約されるため、国、県等の補助を要望したい。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	市民に対して安全で安心できるきれいなおいしい飲料水を供給することが可能となる。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	<p>平成32年度完了目標に年間約5kmの布設替を行ってきており、平成26年度末で156.79km (81.1%/193.34km) の布設替を実施している。しかし、国庫補助金等の補助が受けられないことや給水収益の減少によって自己財源の確保が難しいことから、事業費を縮小せざるを得ない状況であり、更新目標年度の達成が難しくなっている。 水道事業の経営環境が厳しいなか、平成27年4月に改訂した長期経営構想において事業の見直しを行い、震災対策整備事業(老朽管改良)については事業完了目標を平成35年度に延長することとした。</p>	

事務事業評価シート

事務事業コード	001771	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	簡易水道整備事業(蔵見上野)		所属名	農林水産部 農村整備課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成22年度 ~ 平成29年度
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	水道法 鳥取市簡易水道事業給水条例
施策	4201	生活基盤の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	市民との協働による身近な公園の芝生化数		9カ所	36カ所	運営方法	外部委託
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)		0%	0%	会計区分	
予算	予算事業名	蔵見上野簡易水道整備事業費			予算事業コード	04-01-01-02-01-16
		下水道接続率(全市)		94%	95%	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	蔵見上野簡易水道
意図 (どのような状態にするために)	安全な水道水を当該地区の住民に安定して供給し、安心して利用していただく。
手段 (どうするのか)	平成22年度までに実施した水源開発、測量・詳細設計を踏まえ、23~28年度には、配水池築造・送配水管布設等を実施して事業を完成させる。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 取水施設1式 送水管530m 電気減菌施設1式 配水池1池 配水管1,580m	平成24年度 配水管 3,900m 減圧水槽 2池 管末残塩設備1式 電気設備1式	平成25年度 電気機器設備 送配水管布設	平成26年度 送配水管布設	平成27年度	
	年度別実績	調査測量設	配水池1池 配水管布設 補償費1式	配水管布設 送水管布設 取水施設1式 減菌設備1式 用地費1式 補償費1式	送配水管布設	なし	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	21,301	119,030	196,368	44,831	0	
	直接経費 A	21,301	117,545	194,182	41,822	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	7,100	35,862	57,982	11,842	0
		地方債	14,200	76,600	128,600	21,900	0
		その他	1	3,946	5,424	8,007	0
		一般財源	0	1,137	2,176	73	0
人件費 B	0	1,485	2,186	3,009	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.20	0.30	0.40	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	事業進捗率	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
			%	目標	19	45	68	77	100
			実績	5	27	65	77	77	
		(指標の説明) 完成割合。工事・委託等の受注額等/全体事業費							
2			目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)							

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】簡易水道係 0857-20-3246</p> <p>【9次総の施策体系】4201</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 上野地域は鳥取、福部、国府の境界に位置し、水道未整備地域であることや、水利に恵まれない等の理由から簡易水道整備について強い要望があり、鳥取市第8次総合計画において整備が計画されているものである。 平成22年度に水源調査、認可申請、詳細設計を行い、平成23年度より厚生労働省国庫補助事業で、隣接する蔵見簡易水道の給水区域の拡張整備を行っている。 取水施設、送水管、電気滅菌施設、配水池2池、配水管 〔事業期間 平成22年度～平成29年度〕</p> <p>【事業の成果】 水道未整備地域（上野地区）の解消。</p> <p>【今後の課題・方向性】 上野地区の水道施設整備は完了した。連絡管の整備については、岩美広域農道開通後の着手を計画している。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	事業進捗率	26%	60%	96%	100%	77%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	水道未整備地域(上野地区)の解消を目的としているため。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	上野地区の生活基盤になるインフラ整備であるため。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	適切に実施している。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	適切に実施している。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	水道未整備地域（上野地区）の解消は完了した。連絡管の整備時期については、平成29年度以降の上水道統合後に再検討する。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002968	重点事業区分	-	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	簡易水道整備事業(明治豊実)		所属名	農林水産部 農村整備課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成25年度 ~ 平成28年度
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	水道法 鳥取市簡易水道事業給水条例
施策	4201	生活基盤の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	市民との協働による身近な公園の芝生化数		9カ所	36カ所	運営方法	外部委託
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)		0%	0%	会計区分	特別会計
	下水道接続率(全市)		94%	95%		
予算	予算事業名	明治豊実簡易水道整備事業費			予算事業コード	04-01-01-02-01-27

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	上段簡易水道、下段簡易水道、尾崎飲料水供給施設、大塚簡易水道、上原簡易水道
意図 (どのような状態にするために)	安全な水道水を当該地区の住民に安定して供給し、安心して利用していただく。
手段 (どうするのか)	改修の必要事項に応じて施設整備を行う。併せて、地元管理の施設は市管理へ移行する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績			配水管布設	配水管布設	配水管布設	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	165,204	218,614	3,679	
	直接経費 A	0	0	161,561	214,853	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	38,302	47,288	0
		地方債	0	0	121,100	158,200	0
		その他	0	0	1,342	8,707	0
		一般財源	0	0	817	658	0
	人件費 B	0	0	3,643	3,761	3,679	
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.50	0.50	0.50	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	事業進捗率	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			%	目標	0	0	41	90	100	
			実績	0	0	31	90	94		
	(指標の説明) 完成割合。工事・委託等の受注額等/全体事業費									
	2		目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										
3		目標	0	0	0	0	0			
		実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】簡易水道係 0857-20-3246</p> <p>【9次総の施策体系】4201</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 鳥取市簡易水道事業において、平成28年度末に上水道事業へ事業統合することが決定し、整備方法について鳥取市水道局と協議を行っている。そのなかで一部の簡易水道を管路接続することにより水源を削減でき、今後の維持管理等に効率的になることが明確となった。これより、上水道給水区域へ直接接続可能な簡易水道等施設のうち大塚、上原、上段、下段、尾崎について連絡配水管を整備し、飲料水の安定供給と維持管理費の低減を図るものである。</p> <p>○配水管布設 事業期間 平成25年度～平成28年度 <平成27年度> ・配水管布設(国庫補助事業 補助率1/3、起債事業)</p> <p>【事業の成果】 老朽化したインフラを統合整備することで、既存施設を廃止しランニングコストを抑制し、安心・安全な水の安定的な供給に努めた。</p> <p>【今後の課題・方向性】 継続して実施する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	事業進捗率			76%	100%	94%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	老朽化したインフラ(簡易水道施設)の改修であるため。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	成果の向上に努め、適切に実施している。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	施設の統合整備であり、施設数を削減できるためランニングコストを抑えられる。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	住民に安定して安心な飲料水を供給するために必要である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	平成28年度で整備事業完了予定。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002994	重点事業区分	-	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	簡易水道整備事業(宇倍野)		所属名	農林水産部 農村整備課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成22年度 ~ 平成29年度
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	水道法 鳥取市簡易水道事業給水条例
施策	4201	生活基盤の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	市民との協働による身近な公園の芝生化数		9カ所	36カ所	運営方法	外部委託
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)		0%	0%	会計区分	特別会計
予算	予算事業名	宇倍野簡易水道整備事業費			予算事業コード	04-01-01-02-01-19
		下水道接続率(全市)		94%	95%	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	宇倍野簡易水道
意図 (どのような状態にするために)	安全な水道水を当該地区の住民に安定して供給し、安心して利用していただく。
手段 (どうするのか)	改修の必要事項に応じて施設整備を行う。併せて、地元管理の施設は市管理へ移行する

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績			裁判申請書作成業務	裁判申請書作成業務 測量設計	配水池 電気機械設備 送配水管布設 送水ポンプ	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	5,019	6,840	1,004	
	直接経費 A	0	0	2,105	6,840	1,004	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	359	0
		地方債	0	0	2,100	6,400	900
		その他	0	0	0	0	104
		一般財源	0	0	5	81	0
	人件費 B	0	0	2,914	0	0	
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.40	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	事業進捗率	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			%	目標	0	0	3	3	6	
			実績	0	0	2	2	4		
	(指標の説明) 完成割合。工事・委託等の受注額等/全体事業費									
	2		目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										
3		目標	0	0	0	0	0			
		実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】簡易水道係 0857-20-3246</p> <p>【9次総の施策体系】4201</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 国府簡易水道は2系統の水源で給水しており、山崎水源系統は平成15年に認可後、水源、浄水場、配水池、配水管等を整備してきた。 一方、玉鉾水源系統の配水池は設置後50年が経過し老朽化しており、管理道のない山頂に築造されているため、維持管理の問題を残している。このため、配水池を別用地に新設し、併せて送水ポンプ・送水管・連絡配水管を整備し、飲用水の安定供給と維持管理費の低減を図る。 <事業期間> 平成22年度～平成29年度</p> <p>【予算繰越理由】 新設配水池の用地取得について、地元関係者等との交渉に不測の日数を要したため。</p> <p>【事業の成果】 老朽化した簡易水道施設の改修に向けての用地取得業務について、進捗が図られた。</p> <p>【今後の課題・方向性】 継続実施</p> <p>※その他財源のその他は、前年度繰越金</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	事業進捗率			67%	67%	67%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	老朽化したインフラ(簡易水道施設)の改修であるため。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	成果の向上に繋がるよう適切に実施している。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	住民に安定して飲料水を供給するために必要である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	住民に安定して飲料水を供給するために必要である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	平成29年度以降の上水道統合後も継続実施。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002995	重点事業区分	-	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	簡易水道整備事業(福部中央)		所属名	農林水産部 農村整備課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成23年度 ~ 平成29年度
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	水道法 鳥取市簡易水道事業給水条例
施策	4201	生活基盤の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	市民との協働による身近な公園の芝生化数		9カ所	36カ所	運営方法	外部委託
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)		0%	0%	会計区分	特別会計
予算	予算事業名	福部地域簡易水道整備事業費			予算事業コード	04-01-01-02-01-22
		下水道接続率(全市)		94%	95%	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	福部中央簡易水道
意図 (どのような状態にするために)	安全な水道水を当該地区の住民に安定して供給し、安心して利用していただく。
手段 (どうするのか)	改修の必要事項に応じて施設整備を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績			送配水管布設 測量設計	配水池 送配水管布設	電気計装設備 送配水管布設	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	84,084	288,302	2,207	
	直接経費 A	0	0	81,898	286,045	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	79,760	285,900	0
		その他	0	0	2,125	138	0
		一般財源	0	0	13	7	0
人件費 B	0	0	2,186	2,257	2,207		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.30	0.30	0.30	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	事業進捗率	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
			%	目標	0	0	28	30	42
			実績	0	0	13	49	38	
		(指標の説明) 完成割合。工事・委託等の受注額等/全体事業費							
2		目標		0	0	0	0	0	
		実績		0	0	0	0	0	
	(指標の説明)								
3		目標		0	0	0	0	0	
		実績		0	0	0	0	0	
	(指標の説明)								

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】簡易水道係 0857-20-3246</p> <p>【9次総の施策体系】4201</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 福部地域の『湯山簡易水道』『福部中央簡易水道』内の複数の水源の水質が悪化しており、これら2簡易水道を上水道の丸山系統に編入するため、年次的に整備を行う。福部地域には大規模観光地があり、水質悪化が鳥取市に与える影響が甚大であるため、施工優先順位は応急給水を可能にする管路を優先する。 ○ポンプ場改修、送水管、配水池、電気計装設備、配水管 事業期間 平成23年度～平成29年度 <平成27年度> ・電気計装設備、配水池場内整備、ポンプ場改修(交付金事業)</p> <p>【事業の成果】 上水道と統合整備することで、既存施設を廃止しランニングコストを抑制し、安心・安全な水道水の安定的な供給を図った。</p> <p>【今後の課題・方向性】 継続実施</p>

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	事業進捗率			46%	163%	90%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	水源の水質悪化に伴う上水道との統合整備である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	適切に実施している。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	既存施設を廃止することでランニングコストを抑制する。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	住民に安定して飲料水を供給するために必要である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	平成29年度以降の上水道統合後も継続実施。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002996	重点事業区分	-	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	簡易水道整備事業(江波)		所属名	農林水産部 農村整備課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成23年度 ~ 平成26年度
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	水道法 鳥取市簡易水道事業給水条例
施策	4201	生活基盤の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	市民との協働による身近な公園の芝生化数		9カ所	36カ所	運営方法	外部委託
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)		0%	0%	会計区分	特別会計
予算	予算事業名	江波簡易水道整備事業費		予算事業コード	04-01-01-02-01-21	
		下水道接続率(全市)		94%	95%	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	江波簡易水道
意図 (どのような状態にするために)	安全な水道水を当該地区の住民に安定して供給し、安心して利用していただく。
手段 (どうするのか)	改修の必要事項に応じて施設整備を行う。併せて、地元管理の施設は市管理へ移行する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績			電気機器設備 送配水管布設	配水管布設		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	119,907	62,829	4,314	
	直接経費 A	0	0	117,721	60,572	4,314	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	33,056	15,800	0
		地方債	0	0	84,300	27,300	4,300
		その他	0	0	352	17,471	14
		一般財源	0	0	13	1	0
人件費 B	0	0	2,186	2,257	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.30	0.30	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
				配水池1池 送配水管布設 電気機器設備 設計修正業務	配水管布設	取水施設改修 導水管	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	事業進捗率	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
			%	目標	0	0	73	23	4
			実績	0	0	64	33	3	
		(指標の説明) 完成割合。工事・委託等の受注額等/全体事業費							
2		目標		0	0	0	0	0	
		実績		0	0	0	0	0	
		(指標の説明)							
3		目標		0	0	0	0	0	
		実績		0	0	0	0	0	
		(指標の説明)							

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】簡易水道係 0857-20-3246</p> <p>【9次総の施策体系】4201</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 江波地区の水道施設は、昭和46年の創設以来40年が経過し老朽化が進んでいるため、経年劣化が激しい施設から随時施設の更新を進めている。現在、取水口・ろ過池の整備が完了しており、今後2年間かけて老朽化した配水池および集落内配水管の更新を行う。この更新により清浄にして豊富低廉な水の安定供給を図り、生活環境の向上に寄与する。 <事業期間> 平成23年度～平成27年度</p> <p>【予算繰越理由】 地元関係者及び他工事との調整に不測の日数を要したため。</p> <p>【事業の成果】 老朽化した簡易水道施設を改修することで、安心・安全な水道水の安定供給を図った。</p> <p>【今後の課題・方向性】 完了</p> <p>※その他財源のその他は、前年度繰越金</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	事業進捗率			88%	143%	75%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	老朽化したインフラ(簡易水道施設)の改修整備であり、妥当である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	成果の向上に繋がるよう適切に実施している。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	住民に安定して飲料水を供給するために必要である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	住民に安定して飲料水を供給するために必要である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input checked="" type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	施設整備は完了した。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002967	重点事業区分	-	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	簡易水道整備事業(津無)		所属名	農林水産部 農村整備課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成26年度 ~ 平成28年度
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	水道法 鳥取市簡易水道事業給水条例
施策	4201	生活基盤の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	市民との協働による身近な公園の芝生化数		9カ所	36カ所	運営方法	外部委託
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)		0%	0%	会計区分	特別会計
	下水道接続率(全市)		94%	95%		
予算	予算事業名	津無簡易水道整備事業費			予算事業コード	04-01-01-02-01-25

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	津無簡易水道
意図 (どのような状態にするために)	安全な水道水を当該地区の住民に安定して供給し、安心して利用していただく。
手段 (どうするのか)	改修の必要事項に応じて施設整備を行う。併せて、地元管理の施設は市管理へ移行する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績				水源調査	測量設計	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	0	5,110	16,932	
	直接経費 A	0	0	0	5,110	16,932	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	16,932
		一般財源	0	0	0	5,110	0
人件費 B	0	0	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	事業進捗率	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			%	目標	0	0	0	15	64	
			実績	0	0	0	2	10		
	(指標の説明) 完成割合。工事・委託等の受注額等/全体事業費									
	2		目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										
3		目標	0	0	0	0	0			
		実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】簡易水道係 0857-20-3246</p> <p>【9次総の施策体系】4201</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 津無簡易水道施設は、昭和33年度に創設され、現在給水人口137人、給水戸数52戸の地元管理の簡易水道である。配水管の一部は後年度の集落排水工事に伴い随時布設替えされてきたが、水源地、浄水場、送水管、配水池等は老朽化が進行し、近年は故障・漏水等も相次いでおり劣悪な状況である。佐治町の中でも改修整備を急ぐ必要性が高い施設であり、地元の改修希望も強い。また、他の簡易水道とは1km程度離れ、土地の高低の起伏も大きく、統合よりも単独整備が経済的で適切と考えられる。湧水が比較的豊富な地域であり、新規水源にはこれを利用することも含めて検討していく。 <事業期間> 平成26年度～平成29年度</p> <p>【予算繰越理由】 地元関係者との調整に不測の日数を要したため。</p> <p>【事業の成果】 住民に清浄にして豊富な水道水を安定的に供給するために老朽化した施設を改修し、安心して利用できる施設とし、併せて住民生活の向上に寄与する。</p> <p>【今後の課題・方向性】 継続実施</p> <p>※その他財源のその他は、前年度繰越金</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	事業進捗率				13%	16%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	老朽化したインフラ(簡易水道施設)の改修であるため。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	成果の向上につながるよう適切に実施している。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	住民に安定して飲料水を供給するために必要である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	住民に安定して飲料水を供給するために必要である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input checked="" type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	平成29年度以降の上水道統合後も継続実施。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002969	重点事業区分	-	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	簡易水道整備事業(今市勝谷)		所属名	農林水産部 農村整備課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成25年度 ~ 平成32年度
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	水道法 鳥取市簡易水道事業給水条例
施策	4201	生活基盤の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	市民との協働による身近な公園の芝生化数		9カ所	36カ所	運営方法	外部委託
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)		0%	0%	会計区分	特別会計
	下水道接続率(全市)		94%	95%		
予算	予算事業名	今市勝谷簡易水道整備事業費			予算事業コード	04-01-01-02-01-28

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	今市勝谷簡易水道
意図 (どのような状態にするために)	安全な水道水を当該地区の住民に安定して供給し、安心して利用していただく。
手段 (どうするのか)	改修の必要事項に応じて施設整備を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績			測量設計	なし	なし	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	0	26,329	0	
	直接経費 A	0	0	0	26,329	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	26,300	0
		その他	0	0	0	29	0
		一般財源	0	0	0	0	0
人件費 B	0	0	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	事業進捗率	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			%	目標	0	0	9	32	100	
			実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明) 完成割合。工事・委託等の受注額等/全体事業費									
	2		目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										
3		目標	0	0	0	0	0			
		実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】簡易水道係 0857-20-3246</p> <p>【9次総の施策体系】4201</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 鹿野地域の『今市勝谷簡易水道』の今市系統には、公共施設や病院・宿泊施設等の施設が多いにも関わらず、配水池容量が不足している。現在の今市配水池は老朽化してしている上に容量が小さいため、送配水管兼用という特殊な配水方法を併用せざるを得ない状況に陥っている。 ○送水管、配水池、配水管 事業期間 平成25年度～平成32年度</p> <p>【事業の成果】 整備に当たっては、隣接する気高第6簡易水道の飯里系統と統合整備を行うことで、安定的かつ効率的な水道水の供給を図った。</p> <p>【今後の課題・方向性】 継続実施</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	事業進捗率					
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	老朽化したインフラ(簡易水道施設)の統合改修整備であるため。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	成果の向上に繋がるよう適切に実施している。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	施設の統合整備であり、施設数を削減することでランニングコストを抑制できる。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	住民に安定して飲料水を供給するために必要である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input checked="" type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	平成29年度以降の上水道統合後も継続実施。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002970	重点事業区分	-	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	簡易水道整備事業(鬼入道飲料水供給施設)		所属名	農林水産部 農村整備課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成25年度 ~ 平成29年度
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	水道法 鳥取市簡易水道事業給水条例
施策	4201	生活基盤の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	市民との協働による身近な公園の芝生化数		9カ所	36カ所	運営方法	外部委託
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)		0%	0%	会計区分	特別会計
予算	予算事業名	鬼入道飲料水供給施設整備事業費			予算事業コード	04-01-01-02-01-29
		下水道接続率(全市)		94%	95%	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鬼入道飲料水供給施設
意図 (どのような状態にするために)	安全な水道水を当該地区の住民に安定して供給し、安心して利用していただく。
手段 (どうするのか)	改修の必要事項に応じて施設整備を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績			電気探査 水源調査	測量設計 取水施設 取水ポンプ 電気機械設備 浄水池 送水管	監視装置 取水施設 取水ポンプ 電気機械設備 浄水池 送水管	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	10,177	4,447	14,644	
	直接経費 A	0	0	7,991	2,190	12,437	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	12,400
		その他	0	0	0	0	37
		一般財源	0	0	7,991	2,190	0
人件費 B	0	0	2,186	2,257	2,207		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.30	0.30	0.30	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	事業進捗率	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
			%	目標	0	0	8	94	23
			実績	0	0	6	13	0	
	(指標の説明) 完成割合。工事・委託等の受注額等/全体事業費								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)								
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)								

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】簡易水道係 0857-20-3246</p> <p>【9次総の施策体系】4201</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 現在、鬼入道飲料水供給施設では、1水源・1配水池で、鬼入道集落19戸・二ツ家集落3戸に給水している。湧水を水源とするこの飲料水供給施設は、滅菌設備等基本的な施設は整備されているものの、送水管の老朽化、取水不良、生活様式の変化に伴う使用水量増加による慢性的な水不足に陥っている。また、特に夏場の水量確保が難しく湯水に陥りやすく、市民生活に支障をきたしている状況である。 合併前より地域住民からは早期の水道施設整備の要望が提出されており、衛生的で安定した飲料水の供給が急務となっている。 整備方法は、新たな水源を建設する方法を取りやめ、隣接する鹿野簡易水道との統合整備を行うことが適切と判断した。 <事業期間> 平成25年度～平成29年度</p> <p>【予算繰越理由】 送水施設候補地の関係者との調整に不測の日数を要した為</p> <p>【事業の成果】 隣接する鹿野簡易水道と統合整備することで、既存施設を廃止することが可能になり、ランニングコストを抑制し、安心・安全な水の安定的な供給を図った。</p> <p>【今後の課題・方向性】 継続実施</p> <p>※その他財源のその他は、前年度繰越金</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	事業進捗率			75%	14%	
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	水道水の安定供給を図るため。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	成果の向上につなげるため適切に実施している。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	住民に安定して飲料水を供給するために必要である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	住民に安定して飲料水を供給するために必要である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	平成29年度以降の上水道統合後も継続実施		
担当課長の評価コメント			

事務事業評価シート

事務事業コード	002997	重点事業区分	-	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	簡易水道整備事業(野坂)		所属名	農林水産部 農村整備課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成27年度 ~ 平成29年度
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	水道法 鳥取市簡易水道事業給水条例
施策	4201	生活基盤の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	市民との協働による身近な公園の芝生化数		9カ所	36カ所	運営方法	外部委託
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)		0%	0%	会計区分	
	下水道接続率(全市)		94%	95%		
予算	予算事業名			予算事業コード		

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	野坂簡易水道
意図 (どのような状態にするために)	安全な水道水を当該地区の住民に安定して供給し、安心して利用していただく。
手段 (どうするのか)	改修の必要事項に応じて施設整備を行う。併せて、地元管理の施設は市管理へ移行する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績					配水管布設	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	0	0	0	
	直接経費 A	0	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
人件費 B	0	0	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	事業進捗率	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			%	目標	0	0	0	0	44	
			実績	0	0	0	0	44		
	(指標の説明) 完成割合。工事・委託等の受注額等/全体事業費									
	2		目標	0	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標	0	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】簡易水道係 0857-20-3246</p> <p>【9次総の施策体系】4201</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 老朽化した簡易水道施設の改修を実施するにあたって、既存の施設をそのまま改修する方法ではなく、上水道と管路接続することにより、水源施設や配水池を廃止し、維持管理等の効率化を図ることが可能になる。上水道給水区域からの直接配水が可能な簡易水道施設のうち、「野坂簡易水道」について連絡配水管を整備し、水道水の安定供給と維持管理費の低減を図るものである。 ○配水管布設 <事業期間> 平成27年度～平成29年度 <平成27年度> ・配水管布設(交付金事業 補助率1/4、起債事業)</p> <p>【事業の成果】 既存施設を廃止することでランニングコストを抑制し、安心・安全な水道水の安定的な供給を図った。</p> <p>【今後の課題・方向性】 継続実施</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	事業進捗率					100%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	老朽化したインフラ(簡易水道施設)の統合改修整備であるため。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	成果の向上に繋がるよう適切に実施している。
資源投入の効率性 <small>・事業の実手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	水道水の安定供給を図る。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	住民に安定して飲料水を供給するために必要である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	平成29年度以降の上水道統合後も継続実施。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002998	重点事業区分	-	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	簡易水道整備事業(円通寺)		所属名	農林水産部 農村整備課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成25年度 ~ 平成29年度
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	水道法 鳥取市簡易水道事業給水条例
施策	4201	生活基盤の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	市民との協働による身近な公園の芝生化数		9カ所	36カ所	運営方法	外部委託
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)		0%	0%	会計区分	特別会計
予算	予算事業名	円通寺簡易水道整備事業費		予算事業コード	04-01-01-02-01-30	
		下水道接続率(全市)		94%	95%	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	円通寺簡易水道
意図 (どのような状態にするために)	安全な水道水を当該地区の住民に安定して供給し、安心して利用していただく。
手段 (どうするのか)	改修の必要事項に応じて施設整備を行う。併せて、地元管理の施設は市管理へ移行する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績			配水管布設		配水管布設	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	8,734	0	0	
	直接経費 A	0	0	7,277	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	7,200	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	77	0	0
人件費 B	0	0	1,457	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.20	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	事業進捗率	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
			%	目標	0	0	2	0	41
			実績	0	0	2	0	47	
		(指標の説明) 完成割合。工事・委託等の受注額等/全体事業費							
2		目標		0	0	0	0	0	
		実績		0	0	0	0	0	
	(指標の説明)								
3		目標		0	0	0	0	0	
		実績		0	0	0	0	0	
	(指標の説明)								

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】簡易水道係 0857-20-3246</p> <p>【9次総の施策体系】4201</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 老朽化した簡易水道施設の改修を実施するにあたって、既存の施設をそのまま改修する方法ではなく、上水道と管路接続することにより、水源施設や配水池を廃止し、維持管理等の効率化を図ることが可能になる。上水道給水区域からの直接配水が可能な簡易水道施設のうち、「円通寺簡易水道」について連絡配水管を整備し、水道水の安定供給と維持管理費の低減を図るものである。 ○配水管布設 <事業期間> 平成25年度～平成29年度 <平成27年度> ・配水管布設(国庫補助事業 補助率1/3、起債事業)</p> <p>【事業の成果】 既存施設を廃止することでランニングコストを抑制し、安心・安全な水道水の安定的な供給を図った。</p> <p>【今後の課題・方向性】 継続実施</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	事業進捗率			100%		115%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	水道水の安定供給を図るため。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	成果の向上に繋がるよう適切に実施した。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	既存施設を廃止することでランニングコストを抑制する。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	住民に安定して飲料水を供給するために必要である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	平成29年度以降の上水道統合後も継続実施。	

事務事業評価シート

事務事業コード	003000	重点事業区分	-	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	簡易水道整備事業(内海中)		所属名	農林水産部 農村整備課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成27年度 ~ 平成29年度
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	水道法 鳥取市簡易水道事業給水条例
施策	4201	生活基盤の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	市民との協働による身近な公園の芝生化数		9カ所	36カ所	運営方法	外部委託
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)		0%	0%	会計区分	特別会計
	下水道接続率(全市)		94%	95%		
予算	予算事業名			予算事業コード		

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	内海中飲料水供給施設
意図 (どのような状態にするために)	安全な水道水を当該地区の住民に安定して供給し、安心して利用していただく。
手段 (どうするのか)	改修の必要事項に応じて施設整備を行う。併せて、地元管理の施設は市管理へ移行する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績					配水管布設	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	0	0	32,360	
	直接経費 A	0	0	0	0	32,360	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	9,526
		地方債	0	0	0	0	22,800
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	34
人件費 B	0	0	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	事業進捗率	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			%	目標	0	0	0	0	17	
			実績	0	0	0	0	18		
	(指標の説明) 完成割合。工事・委託等の受注額等/全体事業費									
	2		目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										
3		目標	0	0	0	0	0			
		実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】簡易水道係 0857-20-3246</p> <p>【9次総の施策体系】4201</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 老朽化した簡易水道等の施設の改修を実施するにあたって、既存の施設をそのまま改修する方法ではなく、上水道と管路接続することにより、水源施設や配水池を廃止し、維持管理等の効率化を図ることが可能になる。上水道給水区域からの直接配水が可能な簡易水道施設のうち、「内海中飲料水供給施設」について連絡配水管を整備し、水道水の安定供給と維持管理費の低減を図るもの。 ○配水管布設 <事業期間> 平成27年度～平成29年度 <平成27年度> ・配水管布設(国庫補助事業 補助率4/10、起債事業)</p> <p>【事業の成果】 既存施設を廃止することでランニングコストを抑制し、安心・安全な水道水の安定的な供給を図った。</p> <p>【今後の課題・方向性】 継続実施</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	事業進捗率					106%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	水道水の安定供給を図るため。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	成果の向上に繋がるよう適切に実施している。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	既存施設を廃止することでランニングコストを抑制する。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	住民に安定して飲料水を供給するために必要である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>平成29年度以降の上水道統合後も継続実施。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	003001	重点事業区分	-	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	簡易水道整備事業(石井谷)		所属名	農林水産部 農村整備課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成26年度 ~ 平成27年度
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	水道法 鳥取市簡易水道事業給水条例
施策	4201	生活基盤の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	市民との協働による身近な公園の芝生化数		9カ所	36カ所	運営方法	外部委託
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)		0%	0%	会計区分	特別会計
	下水道接続率(全市)		94%	95%		
予算	予算事業名			予算事業コード		

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	石井谷簡易水道
意図 (どのような状態にするために)	安全な水道水を当該地区の住民に安定して供給し、安心して利用していただく。
手段 (どうするのか)	改修の必要事項に応じて施設整備を行う。併せて、地元管理の施設は市管理へ移行する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績					測量設計 配水管布設 なし	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	0	0	0	
	直接経費 A	0	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
人件費 B	0	0	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	事業進捗率	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			%	目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明) 完成割合。工事・委託等の受注額等/全体事業費									
	2		目標	0	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										
3		目標	0	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】簡易水道係 0857-20-3246</p> <p>【9次総の施策体系】4201</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 老朽化した石井谷簡易水道施設の改修整備。整備方法は隣接する大石簡易水道との統合。 ○配水管布設</p> <p>【事業の成果】 簡易水道施設整備の内、平成28年度までの国庫補助(交付金)期間内に対象事業を優先して実施しているため、当該施設整備は平成29年度以降に延期せざるをえなかった。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成29年度以降の上水道統合後に実施予定。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	事業進捗率					
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	老朽化したインフラ(簡易水道施設)の統合整備。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input checked="" type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	当該施設整備は平成29年度以降に延期せざるをえなかった。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	既存施設を廃止することでランニングコストを抑制する。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	住民に安定して飲料水を供給するために必要である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	平成29年度以降の上水道統合後に実施予定。	

事務事業評価シート

事務事業コード	003002	重点事業区分	-	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	簡易水道整備事業(上地)		所属名	農林水産部 農村整備課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成27年度 ~ 平成28年度
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	水道法 鳥取市簡易水道事業給水条例
施策	4201	生活基盤の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	市民との協働による身近な公園の芝生化数		9カ所	36カ所	運営方法	外部委託
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)		0%	0%	会計区分	特別会計
	下水道接続率(全市)		94%	95%		
予算	予算事業名			予算事業コード		

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	上地簡易水道
意図 (どのような状態にするために)	安全な水道水を当該地区の住民に安定して供給し、安心して利用していただく。
手段 (どうするのか)	改修の必要事項に応じて施設整備を行う。併せて、地元管理の施設は市管理へ移行する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績					測量設計 なし	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	0	0	0	
	直接経費 A	0	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
人件費 B	0	0	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	事業進捗率	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			%	目標	0	0	0	0	13	
			実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明) 完成割合。工事・委託等の受注額等/全体事業費									
	2		目標	0	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標	0	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】簡易水道係 0857-20-3246</p> <p>【9次総の施策体系】4201</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 老朽化した上地簡易水道施設の改修整備。 ○導水管、配水池、電気滅菌室、配水管</p> <p>【事業の成果】 簡易水道施設整備の内、平成28年度までの国庫補助(交付金)期間内に対象事業を優先して実施しているため、当該施設整備は平成29年度以降に延期せざるをえなかった。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成29年度以降の上水道統合後に実施予定。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	事業進捗率					
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	老朽化したインフラ(簡易水道施設)の改修整備のため。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input checked="" type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	当該施設整備は平成29年度以降に延期せざるをえなかった。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	住民に安定して飲料水を供給するために必要である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	住民に安定して飲料水を供給するために必要である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input checked="" type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	平成29年度以降の上水道統合後に実施予定。	

事務事業評価シート

事務事業コード	003003	重点事業区分	-	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	簡易水道整備事業(大村)		所属名	農林水産部 農村整備課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成26年度 ~ 平成27年度
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	水道法 鳥取市簡易水道事業給水条例
施策	4201	生活基盤の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	市民との協働による身近な公園の芝生化数		9カ所	36カ所	運営方法	外部委託
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)		0%	0%	会計区分	
	下水道接続率(全市)		94%	95%		
予算	予算事業名			予算事業コード		

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	大村簡易水道
意図 (どのような状態にするために)	安全な水道水を当該地区の住民に安定して供給し、安心して利用していただく。
手段 (どうするのか)	改修の必要事項に応じて施設整備を行う。併せて、地元管理の施設は市管理へ移行する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績					測量設計 水源ポンプ 電気機械設備 送配水管布設 なし	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	0	0	0	
	直接経費 A	0	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
人件費 B	0	0	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	事業進捗率	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			%	目標	0	0	0	0	100	
			実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明) 完成割合。工事・委託等の受注額等/全体事業費									
	2		目標	0	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標	0	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】簡易水道係 0857-20-3246</p> <p>【9次総の施策体系】4201</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 老朽化した大村簡易水道施設の改修整備（送水管、機械電気計装設備、配水管）</p> <p>【事業の成果】 簡易水道施設整備の内、平成28年度までの国庫補助（交付金）期間内に対象事業を優先して実施しているため、当該施設整備は平成29年度以降に延期せざるをえなかった。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成29年度以降、上水道統合後に実施予定。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標 達成 率	1	事業進捗率					
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	老朽化したインフラ(簡易水道施設)の改修整備のため。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input checked="" type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	当該施設整備は平成29年度以降に延期せざるをえなかった。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	住民に安定して飲料水を供給するために必要である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	住民に安定して飲料水を供給するために必要である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input checked="" type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	平成29年度以降、上水道統合後に実施予定。	

事務事業評価シート

事務事業コード	003004	重点事業区分	-	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	簡易水道整備事業(用瀬)		所属名	農林水産部 農村整備課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成26年度 ~ 平成28年度
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	水道法 鳥取市簡易水道事業給水条例
施策	4201	生活基盤の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	市民との協働による身近な公園の芝生化数		9カ所	36カ所	運営方法	外部委託
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)		0%	0%	会計区分	
	下水道接続率(全市)		94%	95%		
予算	予算事業名			予算事業コード		

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	用瀬簡易水道
意図 (どのような状態にするために)	安全な水道水を当該地区の住民に安定して供給し、安心して利用していただく。
手段 (どうするのか)	改修の必要事項に応じて施設整備を行う。併せて、地元管理の施設は市管理へ移行する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績					測量設計 配水池 電気機械設備 送配水管布設 なし	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	0	0	0	
	直接経費 A	0	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
人件費 B	0	0	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	事業進捗率	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
			%	目標	0	0	0	0	58
			実績	0	0	0	0	0	
	(指標の説明) 完成割合。工事・委託等の受注額等/全体事業費								
	2		目標	0	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3		目標	0	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	0	
(指標の説明)									

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】簡易水道係 0857-20-3246</p> <p>【9次総の施策体系】4201</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 老朽化した用瀬簡易水道施設の改修整備（送水管、配水池、電気計装設備、配水管）</p> <p>【事業の成果】 簡易水道施設整備の内、平成28年度までの国庫補助（交付金）期間内に対象事業を優先して実施しているため、当該施設整備は平成29年度以降に延期せざるをえなかった。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成29年度以降、上水道統合後に実施予定。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標 達成 率	1	事業進捗率					
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	老朽化したインフラ(簡易水道施設)の改修整備のため。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input checked="" type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	当該施設整備は平成29年度以降に延期せざるをえなかった。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	住民に安定して飲料水を供給するために必要である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	住民に安定して飲料水を供給するために必要である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input checked="" type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	平成29年度以降、上水道統合後に実施予定。	

事務事業評価シート

事務事業コード	003005	重点事業区分	-	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	簡易水道整備事業(上安蔵)		所属名	農林水産部 農村整備課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成27年度 ~ 平成28年度
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	水道法 鳥取市簡易水道事業給水条例
施策	4201	生活基盤の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	市民との協働による身近な公園の芝生化数		9カ所	36カ所	運営方法	外部委託
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)		0%	0%	会計区分	特別会計
	下水道接続率(全市)		94%	95%		
予算	予算事業名			予算事業コード		

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	上安蔵簡易水道
意図 (どのような状態にするために)	安全な水道水を当該地区の住民に安定して供給し、安心して利用していただく。
手段 (どうするのか)	改修の必要事項に応じて施設整備を行う。併せて、地元管理の施設は市管理へ移行する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績					測量設計 なし	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	0	0	0	
	直接経費 A	0	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
人件費 B	0	0	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	事業進捗率	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			%	目標	0	0	0	0	8	
			実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明) 完成割合。工事・委託等の受注額等/全体事業費									
	2		目標	0	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標	0	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】簡易水道係 0857-20-3246</p> <p>【9次総の施策体系】4201</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 老朽化した上安蔵簡易水道施設の改修整備（電気計装設備、配水管）</p> <p>【事業の成果】 簡易水道施設整備の内、平成28年度までの国庫補助（交付金）期間内に対象事業を優先して実施しているため、当該施設整備は平成29年度以降に延期せざるをえなかった。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成29年度以降、上水道統合後に実施予定。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	事業進捗率					
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	老朽化したインフラ(簡易水道施設)の改修整備のため。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input checked="" type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	当該施設整備は平成29年度以降に延期せざるをえなかった。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	住民に安定して飲料水を供給するために必要である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	住民に安定して飲料水を供給するために必要である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input checked="" type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	平成29年度以降、上水道統合後に実施予定。	

事務事業評価シート

事務事業コード	003006	重点事業区分	-	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	簡易水道整備事業(社)		所属名	農林水産部 農村整備課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成27年度 ~ 平成28年度
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	水道法 鳥取市簡易水道事業給水条例
施策	4201	生活基盤の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	市民との協働による身近な公園の芝生化数		9カ所	36カ所	運営方法	外部委託
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)		0%	0%	会計区分	特別会計
	下水道接続率(全市)		94%	95%		
予算	予算事業名			予算事業コード		

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	社簡易水道
意図 (どのような状態にするために)	安全な水道水を当該地区の住民に安定して供給し、安心して利用していただく。
手段 (どうするのか)	改修の必要事項に応じて施設整備を行う。併せて、地元管理の施設は市管理へ移行する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績					測量設計 なし	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	0	0	0	
	直接経費 A	0	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
人件費 B	0	0	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	事業進捗率	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			%	目標	0	0	0	0	15	
			実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明) 完成割合。工事・委託等の受注額等/全体事業費									
	2		目標	0	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標	0	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】簡易水道係 0857-20-3246</p> <p>【9次総の施策体系】4201</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 老朽化した社簡易水道施設の改修整備（送水管、配水池改修）。</p> <p>【事業の成果】 簡易水道施設整備の内、平成28年度までの国庫補助（交付金）期間内に対象事業を優先して実施しているため、当該施設整備は平成29年度以降に延期せざるをえなかった。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成29年度以降、上水道統合後に実施予定。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	事業進捗率					
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	老朽化したインフラ(簡易水道施設)の改修整備のため。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input checked="" type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	当該施設整備は平成29年度以降に延期せざるをえなかった。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	住民に安定して飲料水を供給するために必要である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	住民に安定して飲料水を供給するために必要である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input checked="" type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	平成29年度以降、上水道統合後に実施予定。	

事務事業評価シート

事務事業コード	003007	重点事業区分	-	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	簡易水道整備事業(口佐治)		所属名	農林水産部 農村整備課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成26年度 ~ 平成29年度
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	水道法 鳥取市簡易水道事業給水条例
施策	4201	生活基盤の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	市民との協働による身近な公園の芝生化数		9カ所	36カ所	運営方法	外部委託
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)		0%	0%	会計区分	特別会計
予算	予算事業名				予算事業コード	
下水道接続率(全市)		94%	95%			

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	口佐治簡易水道
意図 (どのような状態にするために)	安全な水道水を当該地区の住民に安定して供給し、安心して利用していただく。
手段 (どうするのか)	改修の必要事項に応じて施設整備を行う。併せて、地元管理の施設は市管理へ移行する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績				測量設計	配水池 電気機械設備 送配水管布設	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	0	0	42,415	
	直接経費 A	0	0	0	0	42,415	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	40,600
		その他	0	0	0	0	1,800
		一般財源	0	0	0	0	15
人件費 B	0	0	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	事業進捗率	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
			%	目標	0	0	0	8	75
		実績	0	0	0	8	25	(指標の説明) 完成割合。工事・委託等の受注額等/全体事業費	
2		目標		0	0	0	0	0	
		実績		0	0	0	0	0	
3		目標		0	0	0	0	0	
		実績		0	0	0	0	0	

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】簡易水道係 0857-20-3246</p> <p>【9次総の施策体系】4201</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 口佐治簡易水道施設は、昭和54年度に更新整備され、平成13年度に水源を整備した、現在給水人口677人、給水戸数209戸の簡易水道である。口佐治に隣接する葛谷、小原地区は変更認可を得て給水区域に編入されているが、施設整備がされないままになっており、葛谷、小原地区は水道未普及地域となっている。 〈事業期間〉平成26年度～平成28年度</p> <p>【予算繰越理由】 新設配水池の位置決定及びそれに伴う地元地権者との協議に不測の日数を要したため。</p> <p>【事業の成果】 口佐治簡易水道整備事業に伴う測量等設計業務</p> <p>【今後の課題・方向性】 未普及地域の解消に向けて、早期に水道設備の整備を推進する必要がある。</p> <p>※その他財源のその他は、前年度繰越金</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	事業進捗率				100%	33%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	安心・安全な水道水の安定供給を図ることが可能になる。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	成果の向上に繋げるため適切に実施した。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	住民に安定して飲料水を供給するために必要である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	住民に安定して飲料水を供給するために必要である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	平成29年度以降の上水道統合後も継続実施。	

事務事業評価シート

事務事業コード	003008	重点事業区分	-	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	簡易水道整備事業(畑)		所属名	農林水産部 農村整備課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成26年度 ~ 平成27年度
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	水道法 鳥取市簡易水道事業給水条例
施策	4201	生活基盤の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	市民との協働による身近な公園の芝生化数		9カ所	36カ所	運営方法	外部委託
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)		0%	0%	会計区分	特別会計
	下水道接続率(全市)		94%	95%		
予算	予算事業名			予算事業コード		

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	畑簡易水道
意図 (どのような状態にするために)	安全な水道水を当該地区の住民に安定して供給し、安心して利用していただく。
手段 (どうするのか)	改修の必要事項に応じて施設整備を行う。併せて、地元管理の施設は市管理へ移行する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績					測量設計 なし	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	0	0	0	
	直接経費 A	0	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
人件費 B	0	0	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	事業進捗率	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			%	目標	0	0	0	0	100	
			実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明) 完成割合。工事・委託等の受注額等/全体事業費									
	2		目標	0	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標	0	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】簡易水道係 0857-20-3246</p> <p>【9次総の施策体系】4201</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>老朽化した畑簡易水道施設の改修整備。</p> <p>【事業の概要】 老朽化した畑簡易水道施設の改修整備（水源地改修、配水池設備改修）。</p> <p>【事業の成果】 簡易水道施設整備の内、平成28年度までの国庫補助（交付金）期間内に対象事業を優先して実施しているため、当該施設整備は平成29年度以降に延期せざるをえなかった。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成29年度以降、上水道統合後に実施予定。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	事業進捗率					
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	老朽化したインフラ(簡易水道施設)の改修整備のため。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input checked="" type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	当該施設整備は平成29年度以降に延期せざるをえなかった。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	住民に安定して飲料水を供給するために必要である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	住民に安定して飲料水を供給するために必要である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input checked="" type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	平成29年度以降、上水道統合後に実施予定。	

事務事業評価シート

事務事業コード	003009	重点事業区分	-	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	簡易水道整備事業(つく谷)		所属名	農林水産部 農村整備課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成27年度 ~ 平成28年度
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	水道法 鳥取市簡易水道事業給水条例
施策	4201	生活基盤の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	市民との協働による身近な公園の芝生化数		9カ所	36カ所	運営方法	外部委託
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)		0%	0%	会計区分	特別会計
	下水道接続率(全市)		94%	95%		
予算	予算事業名			予算事業コード		

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	つく谷簡易水道
意図 (どのような状態にするために)	安全な水道水を当該地区の住民に安定して供給し、安心して利用していただく。
手段 (どうするのか)	改修の必要事項に応じて施設整備を行う。併せて、地元管理の施設は市管理へ移行する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績					測量設計 なし	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	0	0	0	
	直接経費 A	0	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
人件費 B	0	0	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	事業進捗率	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			%	目標	0	0	0	0	10	
			実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明) 完成割合。工事・委託等の受注額等/全体事業費									
	2		目標	0	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標	0	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】簡易水道係 0857-20-3246</p> <p>【9次総の施策体系】4201</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 老朽化したつく谷簡易水道施設の改修整備（配水池施設改修、電気計装設備）。</p> <p>【事業の成果】 簡易水道施設整備の内、平成28年度までの国庫補助（交付金）期間内に対象事業を優先して実施しているため、当該施設整備は平成29年度以降に延期せざるをえなかった。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成29年度以降、上水道統合後に実施予定。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	事業進捗率					
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	老朽化したインフラ(簡易水道施設)の改修整備のため。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input checked="" type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	当該施設整備は平成29年度以降に延期せざるをえなかった。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	住民に安定して飲料水を供給するために必要である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	住民に安定して飲料水を供給するために必要である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input checked="" type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	平成29年度以降、上水道統合後に実施予定。	

事務事業評価シート

事務事業コード	003010	重点事業区分	-	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	簡易水道整備事業(余戸)		所属名	農林水産部 農村整備課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成26年度 ~ 平成28年度
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	水道法 鳥取市簡易水道事業給水条例
施策	4201	生活基盤の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	市民との協働による身近な公園の芝生化数		9カ所	36カ所	運営方法	外部委託
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)		0%	0%	会計区分	特別会計
	下水道接続率(全市)		94%	95%		
予算	予算事業名			予算事業コード		

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	余戸簡易水道
意図 (どのような状態にするために)	安全な水道水を当該地区の住民に安定して供給し、安心して利用していただく。
手段 (どうするのか)	改修の必要事項に応じて施設整備を行う。併せて、地元管理の施設は市管理へ移行する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績					測量設計 なし	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	0	0	0	
	直接経費 A	0	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
人件費 B	0	0	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	事業進捗率	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			%	目標	0	0	0	0	11	
			実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明) 完成割合。工事・委託等の受注額等/全体事業費									
	2		目標	0	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標	0	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】簡易水道係 0857-20-3246</p> <p>【9次総の施策体系】4201</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 老朽化した余戸簡易水道施設の改修整備（導水管、配水池、電気計装設備、配水管）。</p> <p>【事業の成果】 簡易水道施設整備の内、平成28年度までの国庫補助（交付金）期間内に対象事業を優先して実施しているため、当該施設整備は平成29年度以降に延期せざるをえなかった。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成29年度以降、上水道統合後に実施予定。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標 達成 率	1	事業進捗率					
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	老朽化したインフラ(簡易水道施設)の改修整備のため。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input checked="" type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	当該施設整備は平成29年度以降に延期せざるをえなかった。
資源投入の効率性 <small>・事業の実手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	住民に安定して飲料水を供給するために必要である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	住民に安定して飲料水を供給するために必要である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input checked="" type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	平成29年度以降、上水道統合後に実施予定。	

事務事業評価シート

事務事業コード	003011	重点事業区分	-	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	簡易水道整備事業(大水)		所属名	農林水産部 農村整備課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成27年度 ~ 平成28年度
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	水道法 鳥取市簡易水道事業給水条例
施策	4201	生活基盤の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	市民との協働による身近な公園の芝生化数		9カ所	36カ所	運営方法	外部委託
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)		0%	0%	会計区分	特別会計
	下水道接続率(全市)		94%	95%		
予算	予算事業名			予算事業コード		

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	大水簡易水道
意図 (どのような状態にするために)	安全な水道水を当該地区の住民に安定して供給し、安心して利用していただく。
手段 (どうするのか)	改修の必要事項に応じて施設整備を行う。併せて、地元管理の施設は市管理へ移行する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績					測量設計 なし	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	0	0	0	
	直接経費 A	0	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
人件費 B	0	0	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	事業進捗率	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			%	目標	0	0	0	0	6	
			実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明) 完成割合。工事・委託等の受注額等/全体事業費									
	2		目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										
3		目標	0	0	0	0	0			
		実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】簡易水道係 0857-20-3246</p> <p>【9次総の施策体系】4201</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 老朽化した大水簡易水道施設の改修整備（配水池設備改修、電気計装設備）</p> <p>【事業の成果】 簡易水道施設整備の内、平成28年度までの国庫補助（交付金）期間内に対象事業を優先して実施しているため、当該施設整備は平成29年度以降に延期せざるをえなかった。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成29年度以降の上水道統合後に実施予定。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	事業進捗率					
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	老朽化したインフラ(簡易水道施設)の改修整備のため。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input checked="" type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	当該施設整備は平成29年度以降に延期せざるをえなかった。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	住民に安定して飲料水を供給するために必要である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	住民に安定して飲料水を供給するために必要である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input checked="" type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	平成29年度以降の上水道統合後に実施予定。	

事務事業評価シート

事務事業コード	003012	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	公共下水道事業	所属名	環境下水道部 下水道企画課	

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	全期
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	下水道法、下水道施行令
施策	4201	生活基盤の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	市民との協働による身近な公園の芝生化数		9カ所	36カ所	運営方法	その他
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)		0%	0%	会計区分	その他
	下水道接続率(全市)		94%	95%		
予算	予算事業名			予算事業コード		

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	公共下水道区域内の市民
意図 (どのような状態にするために)	下水道による快適・安心な生活環境の推進を図る。 ①安全なまちづくりの強化②暮らしやすいまちづくりの実現③環境にやさしいまちづくりの実現④計画的施設管理及び効率化の実現
手段 (どうするのか)	○未普及解消(汚水管路整備等) ○浸水対策(雨水管路整備等) ○地震対策(管路設備改築等) ○水質保全(水処理設備増改築等) ○資源循環(汚泥処理設備増改築)

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画			未普及解消対策 浸水対策 地震対策 水質保全対策 資源循環対策	未普及解消対策 浸水対策 地震対策 水質保全対策 資源循環対策	未普及解消対策 浸水対策 地震対策 水質保全対策 資源循環対策	
	年度別実績			未普及解消対策 浸水対策 地震対策 水質保全対策 資源循環対策	未普及解消対策 浸水対策 地震対策 水質保全対策 資源循環対策	未普及解消対策 浸水対策 地震対策 水質保全対策 資源循環対策	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	335,110	315,924	291,484	
	直接経費 A	0	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	
人件費 B	0	0	335,110	315,924	291,484		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	46.00	42.00	39.62	
	嘱託職員	0.00	0.00	9.00	9.00	7.37	
	臨時職員	0.00	0.00	2.00	2.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動指標	1	公共下水道の普及率	%	目標	0	0	75.3	76.1	77	
				実績	0	0	74.8	75.5	76.5	
	(指標の説明) 市の人口に対する公共下水道利用可能な人口の割合									
	2	浸水対策整備率	%	目標	0	0	76.9	77	77	
				実績	0	0	76.9	76.9	76.9	
	(指標の説明) 雨水計画対象区域に対する整備率									
3	放流水質	ppm	目標	0	0	15	15	15		
			実績	0	0	2.8	1.5	4.7		
(指標の説明) 処理場からの放流水質(BOD濃度)上限値(合流式にあつては晴天時)※達成率数式要チェック										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 計画係 0857-20-3303</p> <p>【9次総の施策体系】 4201</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未普及解消下水道事業 ・浸水対策下水道事業 ・地震対策下水道事業 ・資源循環形成下水道事業 ・水質保全下水道事業 <p>【事業の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未普及地区での公共下水道の整備を進め、普及促進を行った。 ・管更生を実施し、管路の耐震化を進めた。 ・千代水クリーンセンターなどの施設整備を進めた。 ・宮長ポンプ場などの施設整備を進めた。 <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>(課題) 経営基盤の強化</p> <p>(方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効率的な汚水処理体系への転換を図るとともに、維持管理コストの縮減に取り組む。 ・積極的な収入確保に努め、徴収率の向上を図る。 ・住民に対する啓発活動に取り組む。
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	公共下水道の普及率			99%	99%	99%
	2	浸水対策整備率			100%	100%	100%
	3	放流水質			19%	10%	31%

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	公衆衛生の向上を図ること及び市民の安全を確保する事業であり妥当である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	未普及解消、処理場施設整備等につながっている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	国の交付金を活用している。また、外部委託できる部分は委託している。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	使用した量に応じて使用料を徴収するので公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	今後も下水道の未整備地域への普及、計画的な浸水・地震等の災害対策及び効率的な維持管理による公衆衛生の向上と生活環境の改善に努めていく。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001870	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	漁業集落環境整備事業		所属名	環境下水道部 下水道企画課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	全期
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	
施策	4201	生活基盤の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	その他
	市民との協働による身近な公園の芝生化数		9カ所	36カ所	運営方法	直営
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)		0%	0%	会計区分	
予算	予算事業名				予算事業コード	
下水道接続率(全市)		94%	95%			

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	漁業集落排水施設
意図 (どのような状態にするために)	漁集施設の老朽化により処理機能の低下が進み更新の時期を迎えていることから、中長期的な観点から更新・維持管理費の削減を図る。
手段 (どうするのか)	処理場の統合及び老朽管路の改修を行なう。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績		処理場の統合整備	処理場の統合整備	処理場の統合整備	処理場の統合整備	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	9,559	0	0	5,371	
	直接経費 A	0	8,000	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	4,000	0	0	0
		地方債	0	4,000	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
人件費 B	0	1,559	0	0	5,371		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.21	0.00	0.00	0.73	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.14	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	統合した処理場数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
			箇所	目標	0	0	0	2	0
		実績	0	0	0	1	1		
	(指標の説明) 漁業集落排水施設の削減数								
2		目標	0	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)								
3		目標	0	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)								

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 計画係 0857-20-3303</p> <p>【9次総の施策体系】 4201</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 経済的な生活排水処理体系とし、維持管理費の低減を図るため、近接する公共下水道へ接続する詳細設計、管路工事、施設改築工事等を実施する。 ・漁業集落排水施設整備事業 酒津地区を公共下水道（浜村処理区）へ接続</p> <p>【事業の成果】 ・酒津地区の中継ポンプ場の改築工事</p> <p>【今後の課題・方向性】 (課題) 経営基盤の強化 (方向性) ・効率的な維持管理に努める。 ・積極的な収入確保に努め、徴収率の向上を図る。 ・住民に対する啓発活動に取り組む。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	統合した処理場数				50%	
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	処理場の統合等、今後の施設の在り方に適している。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	処理場の統合につながっている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	国の交付金を活用している。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	使用料体系は6事業統一化しているため公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小
	<input type="checkbox"/> 2. 改善継続	<input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加	<input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少
	<input type="checkbox"/> 3. 現状維持	<input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善	<input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止
	<input type="checkbox"/> 4. 縮小	<input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化	<input checked="" type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止
	<input checked="" type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント	漁業集落排水の処理場の統合整備については完了した。今後は既存施設の効率的な維持管理に努める。		

事務事業評価シート

事務事業コード	001871	重点事業区分	-	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	農業集落排水事業		所属名	環境下水道部 下水道企画課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成24年度 ~ 全期
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	
施策	4201	生活基盤の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	市民との協働による身近な公園の芝生化数		9カ所	36カ所	運営方法	その他
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)		0%	0%	会計区分	
予算	予算事業名				予算事業コード	
下水道接続率(全市)		94%	95%			

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	農業集落排水施設
意図 (どのような状態にするために)	農集施設の老朽化により処理機能の低下が進み更新の時期を迎えていることから、中長期的な観点から更新・維持管理費の削減を図る。
手段 (どうするのか)	処理場の統合及び老朽管路の改修を行なう。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績		処理場の統合整備	処理場の統合整備	処理場の統合整備	処理場の統合整備	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	8,775	0	0	19,496	
	直接経費 A	0	7,216	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	7,216	0	0	0	
人件費 B	0	1,559	0	0	19,496		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.21	0.00	0.00	2.65	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.49	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	統合した処理場数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			箇所	目標	0	0	0	1	0	
			実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明) 農業集落排水施設の削減数									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)										
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 計画係 0857-20-3303</p> <p>【9次総の施策体系】 4201</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 経済的な生活排水処理体系とし、維持管理費の低減を図るため、近接する他地区の集落排水へ接続する詳細設計、管路工事、施設改築工事等を実施する。 ・農業集落排水整備事業 国英地区を蔵田馬場地区へ接続 東郷地区計画書作成</p> <p>【事業の成果】 ・蔵田馬場地区施設改築工事 ・東郷地区計画書作成</p> <p>【今後の課題・方向性】 (課題) 経営基盤の強化 (方向性) ・効率的な汚水処理体系への転換を図るとともに、維持管理コストの縮減に取り組む。 ・積極的な収入確保に努め、徴収率の向上を図る。 ・住民に対する啓発活動に取り組む。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標 達成 率	1	統合した処理場数					
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	処理場の統合等、今後の施設の在り方に適している。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	処理場の統合につながっている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	国の交付金を活用している。また、外部委託できる部分は委託している。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	使用料体系は6事業統一化しているため公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	今後、農業集落排水施設の老朽化により処理機能の低下が進み更新の時期を迎えることから、長中期的な観点から処理施設の統合整備を行い効率的な維持管理に努める。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001630	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	街なみ環境助成事業		所属名	都市整備部 都市環境課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成6年度～平成31年度
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	
施策	4201	生活基盤の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	市民との協働による身近な公園の芝生化数		9カ所	36カ所	運営方法	補助金交付
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)		0%	0%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	街なみ環境助成費		予算事業コード	01-07-05-01-23-03	
		下水道接続率(全市)		94%	95%	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鹿野城下町地区内の住宅等の建築物の所有者
意図 (どのような状態にするために)	住宅等の建築物を集落ごとに締結した「まちづくり協定」に定められた内容に沿った修景工事を行い、和風の落ち着いた佇まいで鹿野祭りの似合う街なみ景観の形成を目指す。
手段 (どうするのか)	住宅の大規模修景を行う所有者に修景に要する費用の3分の2、100万円を限度として交付する。大規模修景に該当しない修景を行う所有者には3分の1、30万円を限度として交付する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 大規模修景4戸 小規模修景4件	平成24年度 大規模修景2戸	平成25年度 大規模修景2戸	平成26年度 大規模修景1戸	平成27年度 大規模修景1戸	
	年度別実績	大規模修景0戸 (対象事業なし)	大規模修景3戸	大規模修景1戸	大規模修景1戸	大規模修景 なし	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	1,328	1,729	1,752	0	
	直接経費 A	0	1,328	1,000	1,000	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	664	500	500	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	664	500	500	0
人件費 B	0	0	729	752	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	大規模修景戸数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			戸	目標	4	2	2	1	1	
			実績	0	3	1	1	0		
	(指標の説明) 街なみ環境整備事業年次計画で定めた大規模修景に取り組む戸数									
	2	小規模修景戸数	戸	目標	4	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明) 街なみ環境整備事業年次計画で定めた小規模修景に取り組む戸数										
3			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】 景観緑化係 0857-20-3271
	【9次総の施策体系】 4201
	【予算計上の経過】 なし
	<p>【事業の概要】</p> <p>城下町の風情が残る鹿野の街なみで、平成4年から5年頃、洋風建築物による景観悪化、人口減少による地域活力の低下等が課題となり、これらへの対応と歴史・文化を活かした地域活性化を図るために、街なみ環境整備事業を活用した街なみづくりに着手した。</p> <p>平成6年度から7年度に事業化検討、平成8年度に国の整備方針承認・事業着手し、平成22年度で通算17年が経過した。これまでの事業実施による景観や住民意識の向上により、住宅等の修景整備の促進、NPO法人による古民家活用、町内会組織による修景・まちづくり事業など、住民による街なみづくりが活性化した。また、景観整備が進むとともに、城下町としての住民の誇りや愛着が一層増してきており、事業への理解が深まることで、多様なまちづくり事業が可能となっている。</p> <p>【事業の成果】</p> <p>城下町の歴史的特性を活かした街なみ整備により、住民の定住化促進、観光振興による地域活性化並びに地域文化の継承を図る。</p> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>街なみ整備補助金 鹿野地域街なみ環境整備促進区域内で、鹿野らしさに配慮し、街なみ景観向上に寄与した住宅等の整備改善に補助金を交付する。 上限1,000千円 平成24年度 2件 平成25年度 1件 平成26年度 1件 平成27年度 なし</p>

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	大規模修景戸数		150%	50%	100%	
	2	小規模修景戸数					
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	城下町の歴史的特性を活かした街なみになる。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	本事業の継続により住民による街なみづくりの意識が活性化する。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	住宅等の修景整備については、本事業以外に補助制度はないと考えられる。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	住宅等の修景整備であり対象物件は固定化されていないし、受益者負担(自己負担)が1/3必要である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	今後も鹿野地域街なみ環境整備促進区域内の街なみ景観向上に寄与した住宅等の整備改善に補助金を交付する。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001872	重点事業区分	リープロ3	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	若い世帯の住まい支援事業		所属名	都市整備部 建築住宅課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	全期
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	なし
施策	4201	生活基盤の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	市民との協働による身近な公園の芝生化数		9カ所	36カ所	運営方法	補助金交付
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)		0%	0%	会計区分	
	下水道接続率(全市)		94%	95%		
予算	予算事業名			予算事業コード		

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	若者世帯(子育て世代等)
意図 (どのような状態にするために)	若年世帯の住環境整備にかかる負担軽減を通して定住促進を図るため
手段 (どうするのか)	若者世代の住宅家賃などへの支援策を検討する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 住宅改修等の資金の補助制度及び賃貸住宅家賃の補助制度の検討	平成24年度 住宅改修等の資金の補助及び賃貸住宅家賃の補助	平成25年度 賃貸住宅家賃の補助制度の検討→住宅小規模リフォーム助成制度	平成26年度 賃貸住宅家賃の補助制度の検討→住宅小規模リフォーム助成制度	平成27年度 賃貸住宅家賃の補助制度の検討→住宅小規模リフォーム助成制度	
	年度別実績		小規模住宅リフォーム助成事業を創設し、本事業の担うべき役割の一部を吸収した。	住宅小規模リフォーム助成制度を実施	住宅小規模リフォーム助成制度を実施	住宅小規模リフォーム助成制度を実施	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	18,769	19,092	18,095	56,416	
	直接経費 A	0	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	10,000	2,599	0	47,523
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	8,769	16,493	18,095	8,893
人件費 B	0	0	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		若い世帯の応募件数	件	目標	0	20	50	50	100
	実績	0	40	55	27	96			
2		(指標の説明)		目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)								
3		目標		0	0	0	0	0	
		実績		0	0	0	0	0	
	(指標の説明)								

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】住宅係 0857-20-3291</p> <p>【9次総の施策体系】4201</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 住宅改修費の資金の補助及び住宅家賃の補助制度の検討 ⇒平成24年度に創設した『住宅小規模リフォーム助成制度』により本事業の担うべき役割を吸収する。</p> <p>【事業の成果】 平成24年度から27年度の住宅小規模リフォーム助成事業に応募した若者世帯(子育て世帯)の件数は全体応募件数の約2割に達し、居住環境の改善に貢献したものとする。</p> <p>【今後の課題・方向性】 住宅小規模リフォーム助成事業は平成27年度で終了。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	若者世帯の応募件数		200%	110%	54%	96%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	若年層(子育て世帯)が定住するための優先事項のひとつである居住環境維持の支援策を検討した。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	住宅小規模リフォーム助成事業において、若年層(子育て世帯)を優遇対象とした。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	住宅小規模リフォーム助成事業には、国の交付金を活用した。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	住宅小規模リフォーム助成事業における優遇措置は、一般世帯との均衡を大きく失するものではない。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	平成24年度に創設した「住宅小規模リフォーム助成事業」により本事業の担うべき役割を吸収し、平成27年度まで同事業を実施、完了した。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001873	重点事業区分	-	平成27年度 第9次鳥取市総合計画	
事務事業名	第二いなば墓苑三期工事業		所属名	環境下水道部 生活環境課	

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	全期
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	
施策	4201	生活基盤の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	市民との協働による身近な公園の芝生化数		9カ所	36カ所	運営方法	その他
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)		0%	0%	会計区分	特別会計
	下水道接続率(全市)		94%	95%		
予算	予算事業名	墓地管理費			予算事業コード	13-01-01-01-04-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市在住者
意図 (どのような状態にするために)	市民の恒久的な墓地需要に対応するため。(有料)
手段 (どうするのか)	既存の第二いなば墓苑の隣接地に、新たに墓地を造成する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績			用地交渉・土地収用事業認定・実施設計等	用地交渉・土地収用事業認定・実施設計等	用地交渉・土地収用事業認定・実施設計等	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	21,709	14,978	20,139	
	直接経費 A	0	0	18,066	11,217	16,460	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	18,066	11,217	16,460
		一般財源	0	0	0	0	0
	人件費 B	0	0	3,643	3,761	3,679	
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.50	0.50	0.50	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		実施計画の各施策の年間スケジュール推進率	%	目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明) 実施計画の推進									
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標		0	0	0	0	0		
		実績		0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】環境衛生係 0857-20-3216</p> <p>【9次総の施策体系】4201</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 「第二いなば墓苑第三期用地取得」に関し、平成26年度に債務負担行為済み。事業依頼をしている鳥取市土地開発公社が用地代行取得・墓地造成した後に墓地を供用開始。その後に係る費用を同公社に償還する。</p> <p>【事業の成果】 平成26年度 用地交渉・農業振興区域除外 等 平成27年度 用地交渉完了・土地収用事業認定準備・実施設計 等</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成28年度中に既存の第二いなば墓苑の全区画が埋まることが想定され、恒久的な墓地需要への対応を担保するため、早期に第三期の供用を開始する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	実施計画の各施策の年間スケジュール推進率					
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	恒久的な墓地需要に対応するため、第二いなば墓苑を拡張し、新しく墓地を造成する必要があるため妥当である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	随時募集中の市営墓地が平成28年度には空きがなくなる状態になることが見込まれるため、市民の墓地需要に直接対応するものであり有効である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	用地代行取得及び敷地造成について、鳥取市土地開発公社に依頼し、計画的に実施しており効率的である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	鳥取市墓地条例に基づき、全ての市民を対象に実施され、受益者負担(墓地使用料等)も適切に行うため公平性は保たれている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	今後も第二いなば墓苑第三期工事を計画に沿って実施し、早期の供用開始、償還開始を行うよう適切に対応していく。	